

令和3年度 鴨川市社会教育委員会議

日時：令和3年7月6日（火）

午後2時00分

会場：ふるさとシアター

《会議次第》

1. 開 会

2. 教育長あいさつ

3. 議長・副議長選出

4. 報 告

報告1：令和2年度 鴨川市教育委員会生涯学習課 事業報告について

報告2：令和3年度 鴨川市教育委員会生涯学習課 事業計画について

5. 議 題

議件1：令和2年度 鴨川市教育行政評価報告書(案)について

6. 連絡・その他

(1) 鴨川市文化活動事業補助金について

7. 閉 会

鴨川市社会教育委員名簿

任期: 令和3年6月1日～令和5年5月31日

No	氏 名	備 考	
		役 職 等	備考
1	ショウジ ヨシヒロ 庄司 義広	安房東中校長 (市内校長会会長)	新規
2	イシイ カズシ 石井 一司	県立長狭高等学校校長	継続
3	タカハシ カズオ 高橋 和夫	鴨川市子ども会育成連盟会長	継続
4	イマイ 今井 みゆき	鴨川市公立学校PTA連絡協議会代表	継続
5	ハタナカ ヒロシ 畑中 博司	鴨川市青少年相談員連絡協議会会長	継続
6	タツノ トシノリ 辰野 利文	ボーイスカウト鴨川第5団委員長	継続
7	キタモト アヤコ 北本 綾子	学識経験者	新規
8	イシダ ミツジ 石田 三示	学識経験者	継続
9	ヨシダ アキコ 吉田 明子	学識経験者	継続
10	モトヨシ ジュンジ 本吉 淳二	学識経験者	新規

社会教育委員とは〔社会教育法（抜粋）〕

（社会教育委員の職務）

第十七条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

- 一 社会教育に関する諸計画を立案すること。
- 二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べる
こと。
- 三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

社会教育委員の身分

社会教育委員の身分は、非常勤の特別職の地方公務員であり、条例の定めるところにより報酬、費用弁償が支給される。（鴨川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例）

【参 考】

- 会議出席：5,000円/日額
- 費用弁償：市内・外出張は、条例に基づき居住地（勤務地）から片道2kmを超える場合に支給。

鴨川市社会教育委員の主な活動内容（令和3年度）

- 第1回鴨川市社会教育委員会議【7月6日（火）】
〔前年度の教育行政評価及び点検の実施【生涯学習課所管分】〕
 - 千葉県社会教育研究大会【12月2日（木）千葉市】
 - 鴨川市成人式【令和4年1月9日（日）鴨川シーワールド】
 - 第2回鴨川市社会教育委員会議【2月予定】
 - 安房地区社会教育振興大会【令和4年2月5日（土）鋸南町】
 - 安房地区教育講演会【令和4年2月5日（土）鋸南町】
- ）同日開催検討中

○鴨川市社会教育委員の設置等に関する条例

平成 17 年 2 月 11 日
条例第 80 号

(設置)

第 1 条 本市に、社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号)第 15 条第 1 項の規定に基づき、社会教育委員(以下「委員」という。)を置く。

(委員)

第 2 条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会がこれを委嘱する。

(定数)

第 3 条 委員の定数は、15 人以内とする。

(任期)

第 4 条 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(身分等)

第 5 条 委員は、非常勤とし、別に定めるところにより報酬を支給し、職務を行うための費用を弁償する。

(委任)

第 6 条 この条例に定めるもののほか、委員の会議その他必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、平成 17 年 2 月 11 日から施行する。

○鴨川市社会教育委員会議運営規則

平成 17 年 2 月 11 日
教育委員会規則第 18 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、鴨川市社会教育委員の設置等に関する条例(平成 17 年鴨川市条例第 80 号)第 6 条の規定に基づき、社会教育委員(以下「委員」という。)の会議運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第 2 条 委員の会議(以下「会議」という。)には、委員の互選による議長、副議長各 1 人を置く。

(議長及び副議長の任期)

第 3 条 議長及び副議長の任期は、2 年とする。

(議長及び副議長の職務)

第 4 条 議長は、会議を招集し、これを主宰する。

2 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を行う。

(会議の招集)

第 5 条 会議は、必要に応じ議長が招集する。

2 会議を招集するときは、会議開催の日時、場所及び会議に付議すべき事件を通知して行うものとする。

(会議の定足数及び議決)

第 6 条 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。

2 会議の議決は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(その他)

第 7 条 この規則に定めるもののほか、会議に関し必要な事項は、議長が会議に諮って定める。

附 則

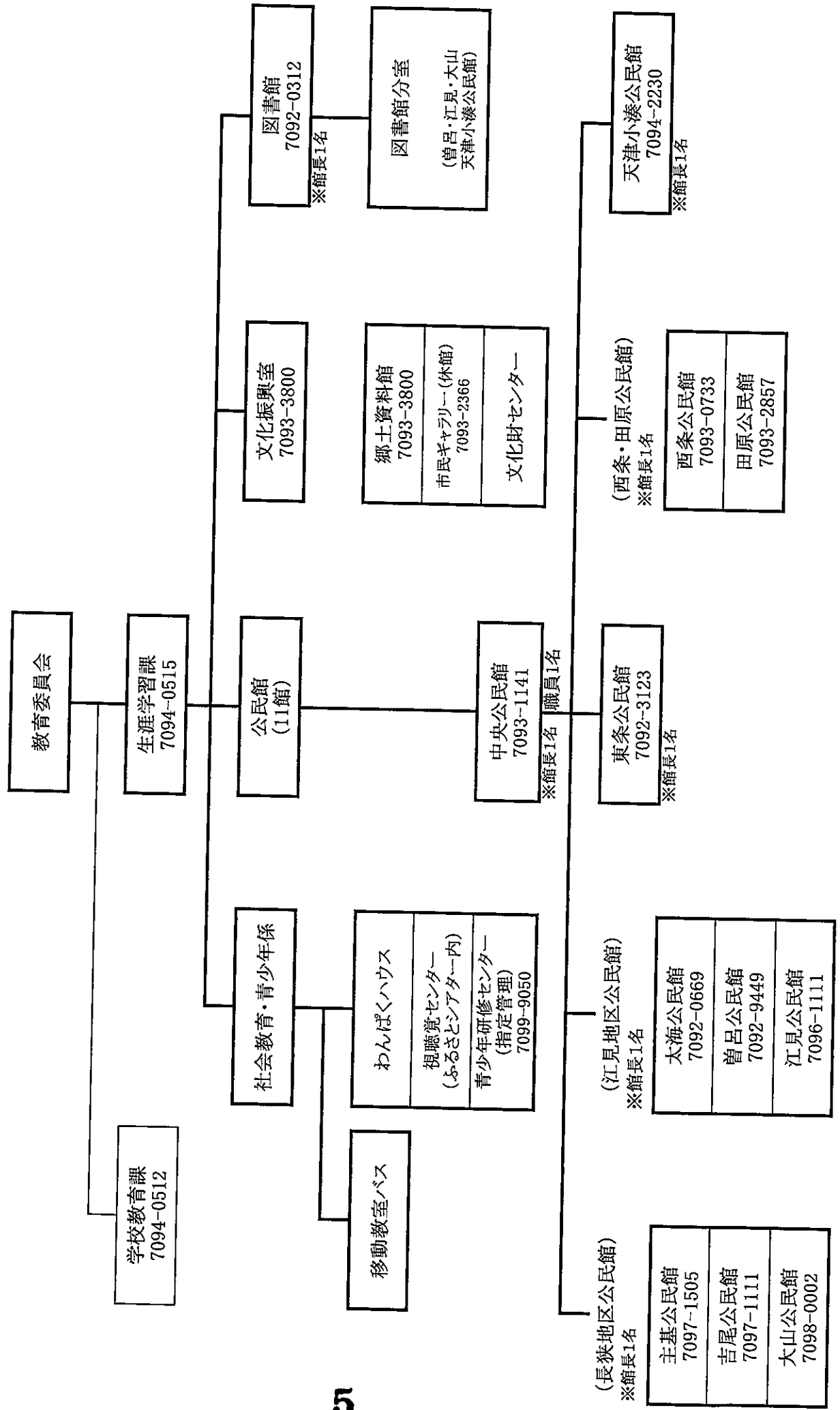
この規則は、平成 17 年 2 月 11 日から施行する。

令和3年度 生涯学習課 会計年度任用職員一覧

委嘱期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

役 職 名	氏 名	就任年月日	備 考
社会教育指導員	ヤマダ イチロウ 山田 一郎	平成29年4月1日	継続5年目 元鴨川市農水商工課長
家庭教育指導員	ショウジ サトミ 庄司 里美	平成31年4月1日	継続3年目 元小湊小学校長
〃	オオシマ キヨシ 大島 清	平成27年4月1日	継続7年目 元天津小校長
鴨川市立図書館長	マカナエ シゲル 蒔苗 茂	平成29年4月1日	継続5年目 元東条小校長
中央公民館長	イトウ キクオ 井藤 機句男	令和2年4月1日	継続2年目 元鴨川小校長
天津小湊公民館長	クロノ マサノリ 黒野 雅典	平成30年4月1日	継続4年目 元鴨川市教育委員会生涯学習課長
東条公民館長	クボ ショウジ 久保 正二	平成28年4月1日	継続6年目 元江見小校長
西条・田原公民館長	ショウジ ミツジ 庄司 満治	平成31年4月1日	継続3年目 元鴨川中学校長
長狭地区公民館長	オグラ タカアキ 小倉 孝昭	平成31年4月1日	継続3年目 元鴨川市役所職員
江見地区公民館長	スズキ ノボル 鈴木 昇	令和2年4月1日	継続2年目 元西条小校長

令和3年度 鴨川市教育委員会関係（生涯学習課所管） 組織図



施設利用料を一部助成

合唱や舞踊、演劇などの文化活動をしている団体が、日ごろの練習の成果を発表する際、市でその施設使用料の一部を助成します。これは市民会館の廃止に伴い、発表の場を確保することが困難になっている市内の文化芸術団体の活動を支援するために行うものです。



■対象団体

鴨川市内に活動拠点を置き、文化芸術活動を主たる目的とし、かつ鴨川市の文化芸術活動の向上に寄与すると認められる団体

■対象事業

合唱・合奏・舞踊や演劇などの舞台発表

■対象施設

△市内の場合 使用する床面積が400平方メートル以上の民間施設

△市外の場合 館山市、南房総市、鋸南町、勝浦市、大多喜町、富津市、君津市に所在する、収容人数が200人以上の有料公共文化施設

■助成額

発表会等の開催に要する施設使用料や、舞台設備費の合計額の2分の1
(上限10万円)

＜詳しくはこちらまで＞ 文化振興室 (郷土資料館)

TEL 04(7093)3800



芸術・文化活動を応援します

令和2年度

鴨川市教育委員会生涯学習課 事業報告

令和2年度 社会教育係・青少年係 事業報告

期 日	曜 日	事業名及び会場	事業内容	参加人数
4月23日	木	鴨川市青少年相談員連絡協議会総会	令和元年度事業報告・決算報告 令和2年度事業計画案、予算案 役員改選	書面開催
4月25日	土	大学交流事業・東京大学 「野鳥の巣箱をかけよう！」 ○会場：東京大学千葉演習林清澄作業所	本市にある東京大学千葉演習林清澄作業所における自然観察イベント。昨年11月に親子で作成した巣箱の観察会。巣箱の作成・設置・観察会を一貫の事業として実施。	中止となったが、巣箱の画像を郵送
5月1日	金	青少年育成鴨川市民会議ゴールデンウィークパトロール ○場所：安房鴨川駅周辺	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施。	中止
5月10日	日	鴨川市子ども会育成連盟総会	令和元年度事業・決算報告 令和2年度事業計画案・予算案・表彰他	書面開催
5月18日	月	鴨川市公立学校PTA連絡協議会総会 ○会場：鴨川市役所	令和元年度事業・決算報告 令和2年度事業計画案・予算案・表彰他	書面開催
6月8日	月	青少年育成鴨川市民会議代議員総会	令和元年度事業報告 令和2年度事業計画案他	書面会議
6月21日	日	鴨川市青少年相談員施設整備 ○場所：わんぱくハウス	青少年相談員によるわんぱくハウス内の清掃及びハウス周辺の草刈作業	22名
6月21日	日	少年の日・地域のつどい安房地区大会 ○会場：館山運動公園体育館 ○参加：鴨川小・天津小・湊小児童 ○種目：ドッジボール大会	安房地区の青少年が、スポーツレクリエーション及び文化活動を通して相互の親睦・友情を深め、青少年として自覚と誇りを高めることを目的に実施する。	中止
6月21日	日	安房地区青少年相談員課題研修会 ○会場：館山運動公園体育館 ○テーマ：ボッチャ講習	青少年相談員が、青少年を心身ともに健全に育成するため、その心構えや青少年の健康・体力づくりに必要な知識等を習得し、指導者としての資質や活動意欲の向上を図る。	中止
6月16日延期 6月22日	土	大学交流事業・千葉大学 「磯の生き物観察会」 ○場所：千葉大学海洋バイオシステム研究センター ○対象：市内小学3～6年生	海や自然の素晴らしさを学ぶことを目的に実施。磯の生き物の観察やスケッチ、水族館・標本室の見学。	中止
6月28日	日	安房郡市子ども会育成者講習会	子ども会の意義や育成者の役割を理解し、育成者・指導者に必要な知識・技術の習得と子ども会活動の振興を図る。	中止
7月4日	土	鴨川市土曜スクール合同事業 「亀田医療大学交流事業」 ○会場：亀田医療大学	各種医療体験等を通じた学生等との交流	中止
7月5日	日	青少年のつどい鴨川市大会 ○会場：鴨川市文化体育館 ○対象：市内小学生 ○種目：ソフトボール	将来を期待される青少年が、自らスポーツを通じて健全な精神・健全な身体を養い、友情を深めるとともに青少年相互の交流親善を図る。	中止
7月5日	日	青少年のつどい鴨川市大会 ○会場：鴨川市立江見小学校体育館 ○対象：市内小学生 ○種目：ミニバス		中止
7月6日	月	社会教育委員会会議 ○会場：ふるさとシアター会議室 ○対象：社会教育委員	令和元年度事業報告 令和2年度事業計画(案) 令和元年度教育行政評価報告書(案)	
7月11日 ～9月13日	土・日・祝	青少年相談員夏期パトロール ○場所：海岸及び各イベント会場周辺並びに市内各地区	子ども達に対する防犯活動及び犯罪の発生抑止活動として実施。	中止

期 日	曜 日	事業名及び会場	事業内容	参加人数
7月29日	水	青少年育成鴨川市民会議花火大会パトロール ○場所：前原・横渚海岸周辺	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施。	中止
7月下旬 ～8月上旬		青少年海外派遣事業 ○派遣先：アメリカ合衆国ウィスコンシン州マニトワック市 ○派遣者：選考で決定した6名（市内在住の高校生）	青少年を海外に派遣し、訪問先の青少年との親善及び交流等を通じて訪問国への友好と理解を深めるとともに、青少年の国際的視野と国際感覚豊かな人間の育成に資することを目的として実施。	中止
8月4日 ～7日	火～金	中学生職場体験学習 ○場所：市内公共機関・企業・店舗 ○対象：市内中学校2年生	市内中学校2年生が一堂に、市内において、2～3日間の職場体験学習を実施。	中止
8月7日	金	青少年育成鴨川市民会議学校夏期休業パトロール ○場所：安房鴨川駅周辺	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施。	30名
8月18日	火	大学交流事業・早稲田大学 「おもしろ科学実験教室」 ○場所：早稲田大学キャンパス ○対象：市内小学生	小学生を対象に、科学の楽しさ知ってもらうための交流事業。	中止
8月22日 ～23日	土～日	鴨川市子ども会ジュニアリーダー講習会 ○会場：鴨川青年の家 ○対象：小学校6年生（各地区単位子ども会リーダー）	市内子ども会のリーダーを集め、1泊2日の団体行動を通して親睦交流を深め、地域のリーダーとしての意識の高揚を図ることを目的として実施。	中止
8月中旬		青少年育成鴨川市民会議歩行者天国パトロール ○場所：前原・横渚海岸周辺	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施。	中止
9月12日 ～13日	土～日	青少年育成鴨川市民会議鴨川合同祭パトロール ○場所：祭典会場等	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施。	中止
9月20日	日	鴨川市公立学校PTA連絡協議会バレーボール大会 ○会場：鴨川中学校 ○対象：市内PTA会員バレーボール部員	バレーボール競技の交歓大会を通して市内幼小中PTA会員相互の親睦を図り、PTA活動の推進意欲の高揚を図る。	中止
9月25日	土	鴨川市土曜スクール合同事業 「城西国際大学観光学部交流事業」 ○会場：城西国際大学安房キャンパス	安房キャンパスにおける体験活動を通じた学生（留学生）等との交流	中止
10月11日	日	安房郡市PTAバレーボール大会 ○会場：県立館山運動公園 ○対象：安房郡市内PTAバレーボール部員	バレーボール競技の交歓大会を通して安房地方小中PTA会員相互の親睦を図り、PTA活動の推進意欲の高揚を図る。	中止
10月17日	土	家庭教育講演会 ○場所：鴨川市文化体育館 ○対象：子どもの保護者・家族、教育関係者、中学生、高校生、その他希望者 ○テーマ：未定 ○講師：未定	家庭教育、地域社会での子育てについて学び合う場として講演会を実施。	中止
10月25日	月	第55回千葉県社会教育振興大会 ○会場：千葉県総合教育センター ○対象：社会教育関係者	社会教育の推進について情報交換をするとともに、研修を深め、千葉県の社会教育の振興を図る。	人数制限 2名
10月中旬		交流事業・早稲田大学 音語りツアー ○場所：早稲田大学キャンパス ○募集数：20名程度	大学が有する文化的財産を広く地域に還元するために実施。また、市民の文化に触れる機会の充実を図る。	中止
11月7日	土	交流事業・東京大学 「野鳥の巣箱をかけよう！」 ○会場：東京大学千葉演習林清澄作業所 ○定員：15名（市内の小学生）	本市にある東京大学千葉演習林清澄作業所における自然観察イベント。親子で野鳥の巣箱を作り設置し、来春の巣箱観察までを一貫の事業として実施。	11名 （保護者含）
11月14日	土	大学交流事業・東洋大学文学講座 ○会場：鴨川市文化財センター ○定員：20名 ○テーマ：ウィルス排除に大切な免疫力とは ○講師：加藤 和則 教授	大学が有する知的財産を広く地域に還元するために実施。また、市民の生涯学習機会の充実を図る。	18名

期 日	曜 日	事業名及び会場	事業内容	参加人数
11月21日	土	鴨川市土曜スクール合同事業 「スクール対抗ウォークラリー」 ○会場：県立鴨川青年の家	ウォークラリーを通じた異学年生児童との交流	74名 (参加児童)
11月21日	土	千葉県PTA研究大会銚子大会 ○会場：銚子市市民センターホール ○対象：千葉県PTA連絡協議会 本部役員・事務局・各専門委員長・銚子市大会実行委員・事務局 習志野大会実行委員会 40名程度 ※縮小開催	県下PTA会員の総意を結集し、社会の変動に対応できる研究活動の充実促進によって会員の資質向上を図り、当面の課題の解決とその実践に努める。	0名 (一般参加なし)
11月下旬		大学交流事業・東京大学 「キャンパスツアー」 ○場所：本郷キャンパス ○募集数：20名程度	市民がキャンパスを訪れ、直接大学の施設などを見学することにより、大学への理解を深める。	中止
11月下旬		大学交流事業：城西国際大学公開講座 ○場所：城西国際大学観光学部 第1回 テーマ：未定 講師：未定	大学が有する知的財産を広く地域に還元するために実施。また、市民の生涯学習機会の充実を図る。	中止
11月29日	日	青少年健全育成推進大会 ○場所：ふれあいセンター 【第1部】青少年健全育成作文・標語の部 入賞作品表彰者・作品発表 (表彰・授賞式中止) 【第2部】青少年育成指導者研修会 講演「新型コロナウイルスの感染症の感染予防について」 医療法人鉄蕉会亀田総合病院感染症科部長 細川直登氏	明るい地域や家庭づくりのほか、いじめの撲滅、青少年の非行防止等をテーマとした作文・標語の表彰・発表や青少年育成指導者研修を通じて、青少年問題に対する地域社会での様々な取組みや方策を探ることで、地域住民の意識を高め、もって青少年健全育成の推進を図ることを目的とする。	40名
12月5日	土	鴨川市子ども会球技大会 ○会場：鴨川市文化体育館 ○対象：市内小学1～6年生 ○内容：ドッジボール	市内の子ども達が、自らスポーツを通じて友情を深め、明るく健全な精神と体力づくりを培う。チームを分けて、ブロック毎に総当たり戦を行う。	中止
12月12日 ～13日	土～日	安房郡市子ども会育成連盟ジュニアリーダー認定講習会 ○会場：鴨川青年の家 ○募集数：20名程度（安房で70名程度） ※市内子ども会会員及び天津小湊小学校の5～6年生	子ども会ジュニア・リーダー（初級）として必要な知識及び技能を修得するための講習会。レクリエーションやウォークラリー等を通して親睦を深めるとともに、救急法について学び、地域のリーダーとしての自覚を高める。	中止
12月23日	水	青少年育成鴨川市民会議学校冬休休業パロール ○場所：安房鴨川駅周辺	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施。	30名
令和3年 1月10日	日	令和2年度 成人式 ○会場：鴨川市役所及び鴨川シーワールド ○対象者数：約320名 (平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれの方。平成27年度市内中学校を卒業された方など市内出身者)	新たに大人の一員となる新成人に市として祝意を示す。新成人による実行委員会を立ち上げ、企画・運営を行う。シーワールド会場の式典は18回目。	成人者代表5名
2月6日	土	第55回安房地区社会教育振興大会 ○会場：船南町中央公民館 ○対象：社会教育関係者	功労者表彰・教育講演、各種団体発表等	中止
2月7日	日	安房地区青少年相談員課題研修会 ○会場：館山運動公園体育館 ○テーマ：ボランティア講習	青少年相談員が、青少年を心身ともに健全に育成するため、その心構えや青少年の健康・体力づくりに必要な知識等を習得し、指導者としての資質や活動意欲の向上を図る。	中止
2月13日	土	鴨川市土曜スクール合同事業 「ボッチャフェスタ」 ○会場：江見小学校体育館	ボッチャを通じた異なるスクールの児童との交流	中止
2月中旬	土	大学交流事業：城西国際大学公開講座 ○場所：城西国際大学観光学部 第2回 テーマ：未定 講師：未定	大学が有する知的財産を広く地域に還元するために実施。また、市民の生涯学習機会の充実を図る。	中止

期 日	曜 日	事業名及び会場	事業内容	参加人数
3月7日	日	鴨川市子ども会ウォークラリー大会 ○会場：鴨川市文化体育館 ○対象者：市内子ども会会員小学1年～6年生	ウォークラリーを通じて自然に親しみながら、市内の子どもたちの体力づくりと仲間づくりの一助とする。	中止
3月18日	木	社会教育委員会議 ○会場：天津小湊支所3階会議室 ○対象：社会教育委員	公民館のあり方について等	
3月24日	水	青少年育成鴨川市民会議学校春季休業パロール ○場所：安房鴨川駅周辺	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施する。	13名
通 年	水～金	家庭教育指導員の相談事業と指導支援 ○会場：天津小湊公民館家庭教育相談室、他市内公民館等 ○対象：市内幼稚園児・小学生・中学生・高校生及び保護者・教師・成人 ○相談員：2名	心の発達上の問題や、不登校・いじめ・ひきこもり・家庭内暴力などの問題行動等の個人面談及び電話相談の実施。 また、各地区の子育て学習会での指導・助言などを行った。	
		放課後子ども教室(土曜スクール)推進事業 ●田原土曜スクール ●西条土曜スクール ●エンジョイスクール鯛(天津小湊) ●江見小わくわくスクール ●Weekend School 未来塾(長狭) ●東条なごやかスクール ●鴨小スマイルスクール	週末の土曜日を中心に、学校施設や社会教育施設、社会体育施設等を活用し、学習はもとより、子どもたちの異学年交流や地域の方々が講師となった体験活動を行ったことで、地域を愛する心の育成と体の健やかな成長を図った。	田原15名 西条25名 天小15名 江見38名 長狭6名 東条16名 鴨川30名 計145名

令和2年度 文化振興室 事業報告

期 日	事 業 名	事業概要	会 場	参加数
8/8(土)～ 10/11(日)	文化財センター開館20年・東条藩成立400年記念 「東条藩ときどき花房藩～鴨川に來た二つの藩～」	文化財センター建設の契機の一つとなった西郷氏館跡の貴重な出土物を公開するとともに、鴨川に館を置いた、たった二つの藩、東条藩と花房藩について、収蔵している史料とその歴史を紹介	郷土資料館	642名
9/6(日) ～13(日)	特別展示「鴨川の祭り」	鴨川地区の合同祭に合わせ、鴨川地区の昔の祭礼で使われていた獅子頭や猿田彦大神(天狗)の衣装などを展示。	市民ギャラリー (ショーウィンド)	中止
11/1(日)～	鴨川市郷土資料館公式Twitter開設	鴨川市郷土資料館の利用情報、開催イベント、市内の歴史、文化、芸術その他関連情報を発信し、利用促進、文化振興の意識醸成と活動促進を図る	郷土資料館	フォロワー数 110名
11/1(日)～ 12/13(日)	ミニ展示 「市有形文化財指定記念 嶺岡牧の絵図」	文化財指定を記念して、該当絵図2枚を、書かれている文字の解説とともに、公開	郷土資料館	407名
11/8(日) ～10月(火)	第50回鴨川市文化祭	鴨川市文化協会、鴨川市園芸同好会主管。市民の日頃の文化活動の成果と力作を展示。	青年の家 郷土資料館	中止
11/23(月・祝)	第47回市民音楽祭	日頃、音楽の活動をしている団体・個人の発表する場を提供し、幅広い豊かな人間性を養うことを目的に開催。	鴨川 グランドホテル	中止
1/17(日)・ 1/24(日)	『西条のあゆみ』解説講座	地区の歴史をより身近に知ってもらおうと執筆担当者による解説会を定期的に実施。	郷土資料館	中止
2/11(木・祝)～ 4/11(日)	企画展 「富士山文化展～鴨川と富士をめぐる～」	描かれた富士、鴨川の富士信仰、鴨川のセンゲンサマの三つのテーマに分け、市所蔵の横山大観の絵画や市内の富士信仰に関わる文献や民俗資料などを展示	郷土資料館	850
未定	アート鑑賞ツアー	東京近郊で開催されている大規模な展覧会等の見学をとおして、市民が芸術・文化に触れる機会を提供することを趣旨として実施。	未定	中止

令和2年度 鴨川市立図書館 事業報告

期 日	事 業 名	事 業 内 容	会 場	参加数
平成23年 4月1日より実施	「赤ちゃんに絵本の贈り物」 ～ブックスタート事業～ *対象：平成31年4月1日から 令和2年3月31日までに 生まれた0歳児 *協力：福祉課、健康推進課	ふれあいセンター、民生児童委員により説明資料及び引換券を配布。引換券を持参の上図書館へ来館した際、記念バッグと絵本1冊、「赤ちゃんにおすすめの絵本」リストをプレゼント。絵本を介して親子の絆を深めてもらう鴨川市子育て支援事業の一環。	図書館	配布人数 174名 引換人数 121名 引換率 69.5%
毎月第2木を 基本に実施	～定例行事～ 「おひざにだっこのおはなし会」 *対象：0歳から3歳位	手遊びやわらべ唄などを取り入れ、おひざにだっこして1対1で読み聞かせるなど、赤ちゃんに絵本に直に触れさせ、親しんでもらうことを目的としている。赤ちゃん向け絵本の紹介なども実施している。 *文化施設ボランティアの活用	図書館	8～12月の 5回開催 延べ参加者数 101名
毎月第4土を 基本に実施	～定例行事～ 「おはなしひろば」 *対象： 4歳位から小学校低学年	紙芝居や語り、パネルシアターなども取り入れた読み聞かせ会。季節にあった折り紙工作なども実施している。 *文化施設ボランティアの活用	図書館	8～12月の 5回開催 延べ参加者数 43名
毎月第3土を 基本に実施	～定例行事～ 「なかよしひろばおはなし会」 ～大山公民館図書館分室～ *対象：幼児から小学校低学年	紙芝居や大型絵本の読み聞かせの他、季節に合わせた簡単な工作なども取り入れたおはなし会。図書館から遠い地域に住む方も参加できるようにと分室での実施。 *文化施設ボランティアの活用	図書館	10～12月の 3回開催 延べ参加者数 13名
8/1.2 (土・日)	「図書館こどもフェスタ」 *対象：幼児から小学生	図書館の本を利用したの工作や楽しい紙芝居、図書館を探索するクイズなど図書館全体を使つての夏休み子ども向け行事。 *文化施設ボランティアの活用	図書館	中止
11/1、11/15 いずれも 日曜日	「子ども1日図書館員」 *対象：市内児童 小学3年生から小学6年生	図書の分類や配架の仕方、カウンター業務など図書館の仕事を通して図書の大切さを学んでもらい、本に親しんで貰うことを目的に実施。例年開催している「こども司書講座」の代わりに実施。	図書館	3年生4名 4年生3名 6年生1名 計8名
2/6 (土)	「ぬいぐるみのおとまり会」 *対象：市内小学2年生以下	ぬいぐるみと一緒に「おはなし会」へ参加し、その後ぬいぐるみを預かり図書館でお泊まり。3日後ぬいぐるみを迎えにきた子どもに、ぬいぐるみが図書館で過ごした様子をアルバムにしてプレゼント。	図書館	中止

期 日	事 業 名	事 業 内 容	会 場	参加数
8/22 (土) 3/21 (日)	「えいごのおはなし会」 *対象：幼児から小学低学年 *講師：ジェナウアーブ・ ワグナー氏	小学校に英語教育や英語活動が本格的に取り入れられる中、幼い頃から国際理解を深めてもらう機会の提供を目的に実施。	図書館	中止
8/16 (日) 12/13 (日)	「映画上映会」 *対象：小学生から成人一般 ～平和を考える上映会～ 「STAR SAND～星砂物語～」 ～名作とふれあう上映会～ 「忍たま乱太郎」	小説等が原作となっている映画作品の上映会を開催することで、映画鑑賞の楽しみや原作本への関心をより多くの市民に持っていただく。	図書館	21名 31名
2/16 (火)	「お話を楽しむ会」 *対象：成人一般	短編小説やエッセイなどの朗読や、季節に合わせた読書会や講話会など成人向け朗読会。 *文化施設ボランティアの活用	図書館	中止
10/25 (日)	「文学講座」 ～伊勢物語～ *講師：河地修氏 *対象：成人一般	文学に親しむ機会として実施した成人向け講座。今年度は東洋大学名誉教授の河地先生をお招きして「伊勢物語」の講話を開催。	図書館	28名
12/6 (日)	「本のリサイクル市」 *提供冊数 約2,800冊 *一人 10点まで *対象：図書館利用者	市民の方々より寄贈していただいた図書の内、図書館として受け入れしなかったが、図書としての機能を失っていない再利用可能な資料を利用者へ無償で譲渡。資源の有効活用を図る。今年度はコロナ対策のため整理券を発行し、混乱させない工夫をした。 *文化施設ボランティアの活用	図書館	延べ参加者数 226名
9/12 (土) 1/30 (日)	「俳句入門講座」 *対象：成人一般 *講師：東國人氏	古典文学や伝統芸能に親しむ事を目的に実施。実際に句を作成し、講師による選句など句会形式で行った。	図書館	18名参加 中止
12/15～ 12/27	「本の福袋」 *対象：図書館利用者 *配布数：大人 30袋 子ども30袋	図書館職員が選んだ本をテーマごとに3冊ずつ詰めて貸出。どんな本が入っているかわからないという楽しさと、普段自身では選ばない本を読んで貰うことで、他分野の図書の利用の増加を目指している。	図書館	60名
1/17 (日)	「読書ボランティア スキルアップ研修会」 *講師：子どもの本研究家・絵本作家 平川政男氏、薫くみこ氏	読み聞かせ会のプログラムの立て方、絵本の選び方など、子どもの目線に立って指導。今後の活動に生かせるようボランティア同士の情報交換及びネットワーク作りの推進を図った。	鴨川青年の家	中止

期 日	事 業 名	事 業 内 容	会 場	参加数
平成23年度	「公民館図書館分室の開設」 曾呂、大山公民館図書館分室	遠隔地域の住民サービスとして公民館へ図書館の分室を開設。趣味的なものから実用書、ベストセラー本も購入し設置。児童向けには絵本や文学本の他学習用図書も置き、勉強の場としての活用も図っている。	曾呂	登録99名 蔵書約800冊
平成24年度	江見公民館図書館分室		大山	登録191名 蔵書約2600冊
平成25年度	天津小湊公民館図書館分室		江見 天津小湊	登録89名 蔵書約800冊 登録233名 蔵書約4500冊
随時	「市内中学校 朝読書用図書配本事業」 *対象：市内3中学校 *配本図書：約840冊	中学生の読書力向上をめざし、市内3中学校と連携を図り、朝読書用図書として各クラスにお届け。図書館おすすめの図書を約1000冊購入し1クラス40冊ずつ、1学期ごとに配本。途中学校内で交換して活用。	鴨川中 長狭中 安房東中	15クラス 各40冊ずつ 3クラス 各40冊ずつ 3クラス 各40冊ずつ
随時	「小学校図書配本事業」 *対象：市内小学校図書室 *配本図書：100冊～200冊ずつ *市内全小学校へ実施	小学生の読書力向上と読書の習慣づけを目指し、図書館から推薦する図書を小学校へ配本。新刊図書の購入や、年2回の図書の入れ替え等をする事で、配本事業の充実に努めている。	東条小 長狭小 江見小 田原小 鴨川小 天津小湊小 西条小	200冊 150冊 150冊 100冊 200冊 150冊 150冊
随時	「公民館予約本受取サービス」 *対象：図書館利用者	図書館まで来ることが困難な方のために、事前に図書館へ予約した本を希望する市内の公民館へお届けし、市民の利便性を高める。	各公民館	95件 168冊

令和2年度 鴨川市各公民館 事業報告

中央公民館

利用件数: 694件
利用者数: 5789人

教室名	開催回数	参加 延人数	内 容
インキング教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
文化を楽しむ教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
生涯いきいき教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
おらが学	3回	51名	鴨川市学芸員による鴨川の歴史を学ぶ講座 ・第1回 『東条藩と花房藩』郷土資料館 ・第2回 富士山信仰一戦場浅間神社の散策 ・第3回 『鴨川と富士をめぐる』郷土資料館
生活書道	4回	32名	書道家の先生のお手本の元、冠婚葬祭や、ちょっとした時に必要な毛筆や筆ペンの練習。 最終回には年賀状を作成した。
音楽の旅	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
家庭教育学級	1回	23名	『保護者と学ぶ子どもの整体』『鍼灸マッサージ師の講師の先生から、子どもの夜泣きやおねしょの対処法、又、保護者の骨盤調整を教わった。』
親子で和菓子づくり教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
大人の和菓子づくり教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
親子でお絵描き教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
免疫生活のすすめ	5回	92名	健康管理士上級指導員の先生による講座 ・第1回 新型コロナウイルスって何？ ・第2回 長寿と油の摂り方 ・第3回 各種ビタミンの働き ・第4回 米に特化した日本人の体 ・第5回 血圧を考える
楽しい歌声教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
よひこてマンガの世界へ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
夏休み子ども絵画・ポスター教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
あなたの命を守る教室	1回	17名	・第1回 災害から私たちはどのように身の安全を守ればよいのか。 鴨川市危機管理課職員による『台風災害に対する心構えや、発生時の対応について』 ・第2回 新型コロナウイルス感染症予防のため、この回は中止となった。
見たり・聞いたり・安房の国	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
計16教室	計14回	計215名	
定期利用団体数 (R2. 4. 1現在)		定期利用団体内容	
45団体		・囲碁・合唱・登山・太極拳・3B体操・英会話・中国語・ビラティス・フォークダンス ・押し花・ちぎり絵・日本語・サロン・民謡・社交ダンス・卓球・パソコン・福祉・語学 ・短歌・俳句・古文書・民謡民舞・カラオケ・マンドリン・空手・子育て・水引工芸 ・書道・七宝焼き・茶道・大正琴・フラダンス・フラワーアレンジメント・ボランティア	

東条公民館

利用件数: 594件
利用者数: 5626人

教室名	開催回数	参加 延人数	内 容
ハイキング教室			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
文化・芸術鑑賞 教室			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
いきいき教室			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
免疫生活で健康 長寿	5回	95名	健康管理士上級指導員の先生による講座 ・第1回 新型コロナウイルスって何 ・第2回 長寿と油の摂り方 ・第3回 各種ビタミンの話 ・第4回 米に特化した日本人の体 ・第5回 血圧を考える
健康寿命は延ば せる	4回	44名	元体育教師による健康寿命を延ばすための食事、運動、心の持ち方についてと簡単な体操。
ボディケア教室			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
健康ヨガ教室	5回	78名	音楽を聴きながら講師の先生の説明と動きにあわせ、ヨガの基本的な動きと呼吸法を体験した。
初心者のための 気功・太極拳教室	6回	120名	講師の先生は91歳であるが、元気である。かつて中国に何度か行き学んだという。気功や太極拳の動きを一つ一つ分かりやすく説明してくれ実践した。
スマイル歌声教室			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
スローエアロビ 教室	5回	94名	音楽に合わせてリズミカルに体を動かす。激しい動きではないが運動量は多く、心身がリフレッシュした。
初心者のための 水彩画教室	5回	58名	・水彩画の道具と基本の塗り方 ・野菜や果物を描く ・グリスエム画法で植物を描く ・レイヤーで風景を描く ・塩を使って水彩画を描く
初心者のための 書道教室	5回	53名	・筆の基本的な使い方 ・自分の作品づくりに挑戦(2回) ・自分の作品を額に入れ鑑賞 ・大筆に挑戦
白磁の絵付けと 折り紙教室	2回	15名	講師の指導を受けながら、白磁の絵付けと季節の花の折り紙を折り、花の庭の作品を完成させた。
計 13教室	計37回	計557名	
定期利用団体数 (R2. 4. 1現在)		定期利用団体内容	
32 団体		・カラオケ・囲碁・高齢者支援・パッチワーク・社交ダンス・つるし飾り・子育て支援・健康麻雀 ・マジック・生け花・子育て学習・短歌・俳句・着物リメイク・料理・エアロビクス・羊毛フェルト ・篆刻・書道・フラダンス・英会話・コーラス・3B体操・配食・ストレッチ・切り絵・サロン	

西条公民館

利用件数: 286件
利用者数: 2831人

教室名	開催回数	参加 延人数	内 容
リフレッシュ 体操教室	4回	72名	ストレッチ体操やセルフマッサージで、体をほぐし体幹の矯正などを行った。
生き生き教室			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
家庭教育学級	1回	41名	・第1回 ヨガインストラクターによる、「親子で楽しむエアロビクス教室」 ・第2回 新型コロナウイルス感染予防のため、この回は中止となった。
健康ヨガ教室	5回	71名	呼吸法を大切にしながらストレッチ体操、各種のヨガのポーズを学びストレスの解消と心身のリラックスが出来た。
里山の観察教室			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
スロー エアロビクス教室	4回	59名	スローなリズムの音楽に合わせた有酸素運動とストレッチ体操を行った。
計6教室	計14回	計243名	
定期利用団体数 (R2. 4. 1現在)		定期利用団体内容	
13 団体		・合唱・ハーブ・クラフト・ドライフラワー・編み物・尺八・太極拳・着付け ・エアロビクス・給食ボランティア・福祉・フラダンス・竹わら細工	

田原公民館

利用件数: 294件
利用者数: 2233人

教室名	開催回数	参加 延人数	内 容
自然と文化教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
家庭教育学級	1回	17名	・第1回 講話 子ども発達支援センターのカウンセラーによる「日頃の子育て 親は子どもにどう関わったら良いか」 ・第2回 新型コロナウイルス感染予防のため、この回は中止となった。
エアロビック教室	5回	80名	音楽にあわせた有酸素運動とストレッチ体操を行った。
房州の名山を行く教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
健康ヨガ教室	3回	43名	呼吸法を大切にしながらストレッチ体操、各種のヨガのポーズを学びストレスの解消と心身のリラックスが出来た。
ピラティス教室	5回	63名	体幹を鍛え体のゆがみや癖の改善を行った。
一万歩ウォーキング教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
計7教室	計14回	計203人	
定期利用団体数 (R2. 4. 1現在)		定期利用団体内容	
11 団体		・将棋・クラフト・押し花・フラダンス・革工作・水墨画・カラオケ ・給食ボランティア・ふれあいサロン・太極拳・エアロビ	

大山公民館

利用件数: 226件
利用者数: 1714人

教室名	開催回数	参加 延人数	内 容
押し花ビギナー教室	3回	17名	押し花を使って、うちわ・ポストカード・壁掛け作りなどを行った。
ハンドメイドワーク ショップ	5回	39名	ビーズアクセサリー・白磁に転写シート貼り食器作り・ハーバリウム作りを行った。
ハーブ活用講座	3回	20名	ハーブを使った調味料作り・エッセンシャルオイル作り・ハーブの栽培法を学んだ。
足の健康教室	6回	51名	「足から健康」を考える。爪の役割・靴の履き方・ポールウォーキングを行った。
計4教室	計17回	計127名	
定期利用団体数 (2. 4. 1現在)		定期利用団体内容	
17 団体		・竹細工・短歌・歌謡・給食ボランティア・編み物・書道・日本語 ・そばうち・3B体操・気功・押し花・読み聞かせ・老人会・音頭・手芸	

吉尾公民館

利用件数: 262件
利用者数: 2395人

教室名	開催回数	参加 延人数	内 容
スマホ・デジカメ 写真教室	6回	39名	各自の機種を使い、撮影の技術を学んだ。
健康寿命は延ば せる教室	4回	28名	元体育教師による、「元気で百歳まで」という大きなテーマで、各回ごとに健康法を学んだ。
家庭教育学級	1回	25名	子ども発達支援センターのカウンセラーによる 「こどもの困り感を理解して、自信につなげるために」という内容の講話を行った。
計3教室	計11回	計92名	
定期利用団体数 (2. 4. 1現在)		定期利用団体内容	
15 団体		・短歌・日本画・大正琴・ヨガ・合唱・尺八・刺繍・サロン ・囲碁・3B体操・給食ボランティア・茶道・パソコン・写真	

主基公民館

利用件数: 163件
利用者数: 1326人

教室名	開催回数	参加 延人数	内 容
水引手芸教室	4回	42名	水引を使ってアクセサリや雑貨を作成した。
ナイトヨガ教室	5回	65名	夜間の開催で、ヨガの基本を学び、健康維持と運動不足解消になった。
ヤングウーマンの 3B体操教室	4回	28名	ボール・ベル・ベルダーの3つの手具を使い、音楽に合わせて身体を動かしたり、ダンスを行い、楽しく運動を行った。
そば打ち教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
計4教室	計13回	計135名	
定期利用団体数 (2. 4. 1現在)		定期利用団体内容	
14 団体		・ヨガ・楽器・中国語・手芸・3B体操・パンフラー・食育 ・給食ボランティア・浮世絵彫・絵てがみ・シャドーボックス ・エンジョイフラー・そば打ち・竹細工	

長狭地区共催

教室名	開催回数	参加 延人数	内 容
ふれあい粋・活 教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
計 1教室	計0回	計0名	

江見公民館

利用件数: 195件
利用者数: 1671人

教室名	開催回数	参加 延人数	内 容
生き生き教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
自然と文化教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
書道教室	4回	14名	道具の手入れの仕方から基本練習。正しい姿勢と反復練習。自由課題に取り組んだ。
野草を取り入れた ヘルシー料理教 室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
編み物教室	4回	33名	手編みの基本的技能を身につけ、各自作品を完成させた。
公民館の音楽会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
計6教室	計8回	計47名	
定期利用団体数 (R2. 4. 1現在)		定期利用団体内容	
12 団体		・詩吟・ちぎり絵・運動・フラダンス・給食ボランティア・カラオケ・手話・編物・書道・3B体操・ストレッチ・ダンス	

太海公民館

利用件数: 320件
利用者数: 2371人

教室名	開催回数	参加 延人数	内 容
生き生き教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
自然と文化教室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
ボディークラス	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
磯釣り教室	3回	31名	釣りの基礎知識を学び、自然に浸りながら釣れる感触を楽しんだ。
公民館の音楽会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
お飾り教室	2回	23名	お正月のお飾り作り。
計6教室	計5回	計54名	
定期利用団体数 (R2. 4. 1現在)		定期利用団体内容	
14団体		・リズム体操・日本舞踊・フラダンス・絵画・マンドリン・給食ボランティア ・社交ダンス・パソコン・フラダンス・裁縫・3B体操・尺八	

曾呂公民館

利用件数: 335件
利用者数: 2379人

教室名	開催回数	参加 延人数	内 容
歴史散歩教室			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
生き生き教室			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
家庭教育学級	1回	25名	元小学校校長による「今の子どもたちにつけたい体力づくり」の講演
健康ヨガ教室	5回	47名	呼吸法を大切にしたいヨガの動きで血行を促進、心身をリラックスさせ、健康づくりを行った。
アートで気分リフレッシュ教室	4回	23名	様々なものを対象に、いろいろな画材を使って作品を製作し、脳に良い刺激を与えた。
公民館の音楽会			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
フラワーアレンジメント教室	4回	28名	全方向から見られる花の生け方と、クリスマスやお正月にあった花の生け方等を教わった。
計7教室	計14回	計123名	
定期利用団体数 (R2. 4. 1現在)		定期利用団体内容	
10 団体		・詩吟・囲碁・サロン・リズム体操・卓球・フラダンス・子育て学習・太極拳・給食ボランティア・老人会・育成会	

天津小湊公民館

利用件数: 480件
利用者数: 3397人

教室名	開催回数	参加 延人数	内 容
スマホキャッシュレス教室	2回	25人	スマホキャッシュレスの仕組みや利用法について学んだ。
シニアのためのスマホ教室	3回	30人	自分のスマホを持参し、ブラウザの種類と基礎知識、検索方法を学んだ。
ハーブと暮らしを楽しむ教室	3回	26人	ハーブについての学習のほか、ハーブティーやハーブソルト等の製作を行った。
誰もが元気になる教室	4回	28人	元体育教師による「健康寿命を延ばすための方法」について学習した。
脳トレのための珠算教室	7回	32人	珠算を通して計算問題を解くことで脳トレに役立てた。
免疫力アップ教室	2回	33人	コロナ禍の中、ウイルスに打ち勝つための免疫力アップについて学んだ。
楽しくゆったりフラ入門教室	12回	122人	初心者を対象にフラダンスの基礎について学んだ。
健康ストレッチ教室	5回	77人	身体の関節を伸ばし運動しやすい身体づくりで転倒防止に役立った。
家でもできる体幹トレーニング教室	7回	88人	身体の屋台骨である体幹の筋肉を鍛え、姿勢の良い身体作りを行った。
身体に良いこと欲張り教室	5回	64人	健康体操やウォーキングを通して健康づくりについて実践しながら学んだ。
千葉県文書館出前講座	1回	15人	「徳川家康の関東入国と房総」をテーマに千葉県文書館講師による講演。
計 11教室	51回	計540名	
定期利用団体数 (2. 4. 1現在)		定期利用団体内容	
14団体		・英会話・絵画・毛糸刺繍・粘土クラフト・ちぎり絵・茶道・水彩画・フラダンス・陶芸・社交ダンス・詩舞・カラオケ・編物・ピラティス2団体	

令和2年度 社会教育関係事業補助金 実績報告書

令和2年度は、市内における社会教育及び文化の振興を推進するため、社会教育関係補助金の交付に係る「鴨川市社会教育関係事業補助金交付要綱」(平成22年4月1日施行)に基づき実施しました。社会教育関係事業補助金及び青少年育成事業補助金について、市内の社会教育関係4団体から交付申請があり、鴨川市補助金等交付規則に基づき審査した結果、下記のとおり補助金交付額が確定されました。

記

1. 補助事業の目的

地域の社会教育活動が活性化し、地域の状況に即応した適切な社会教育サービスを住民に提供するため、社会教育関係団体の積極的な活動を推進・支援することを目的とする。

市内における社会教育の振興を推進するため、社会教育関係事業に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。

2. 補助事業の成果

- ①構成団体相互の連携及び諸団体機関との連絡強調を図り、子ども会活動の発展と充実を促した。
- ②各PTAが相互に連携し、市内の父母と教職員が共通理解の下で子どもたちの成長について協力しあい、諸課題について解決していくことができた。(PTAバレーボール大会中止のため、補助金の申請なし。)
- ③各地区の子どもや指導者との交流事業を通して、連帯意識や団体行動での規律について学び、異なる年齢層の中で協力し合う姿勢が見られるようになった。
- ④人間形成にとって大切な時期の青少年に対し、各種事業による交流により団結力が生まれ、地域での青少年育成活動の積極的な推進ができた。
- ⑤新型コロナウイルスの影響により事業中止のため、補助金の申請なし。

3. 補助団体概要

(1)社会教育関係団体

番号	交付確定額 (円)	団 体 名
1	251,000	鴨 川 市 子 ど も 会 育 成 連 盟
2	70,000 0	鴨 川 市 公 立 学 校 P T A 連 絡 協 議 会
3	100,000	ボ ー イ ス カ ウ ト 鴨 川 第 5 団
4	613,519	鴨 川 市 青 少 年 相 談 員 連 絡 協 議 会
5	100,000 0	小 湊 相 撲 協 会
合計	964,519	

令和2年度 社会教育関係事業補助金 実績報告書【文化振興室】

社会教育関係事業補助金について、団体からの交付申請があり、鴨川市補助金等交付規則に基づき審査した結果、下記のとおり補助金交付額が確定された。

記

1. 補助事業の目的

地域の社会教育活動が活性化し、地域の状況に即応した適切な社会教育サービスを住民に提供するため、社会教育関係団体の積極的な活動を推進・支援することを目的とする。

市内における文化の振興を推進するため、社会教育関係事業に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。

2. 補助事業の成果

①市内で芸術・文化活動に取り組んでいる文化協会の活動を支援した。

②地域の歴史や文の化財を調査する地道な取り組みを継続している郷土史研究会の活動を支援した。令和2年度は、曾呂地区の歴史民俗等文化遺産を歴史散歩として活用するための調査研究を進め、かつ一昨年のテーマである「鴨川の先人・偉人」追加調査を実施した。

③鴨川市内で継承されている無形民俗文化財の催行・維持活動を支援した。それぞれの団体は市内外で認知度及び関心度があり、保存継承への積極的な取り組みにつながっている。中止

④国指定天然記念物「清澄の大スギ」保存整備事業を支援した。引き続き、粘着テープによるスギカミキリの食害被害の有無の確認及び防除作業とともに、防虫のための薬剤散布を実施した。

3. 補助団体概要

(1)文化振興団体

番号	交付確定額	団 体 名
1	70,000	鴨 川 市 文 化 協 会
2	35,000	鴨 川 市 郷 土 史 研 究 会
3	中止 184,000	吉保八幡神社のやぶさめ他 全3団体
4	267,000	(宗) 清 澄 寺 (清 澄 の 大 ス ギ)
合計	372,000	

令和2年度 生涯学習課 施設利用状況
【令和2年4月1日～令和3年3月31日】

【青少年研修センター】

年 度	利用者数				使用料(円)
	宿 泊	集会室	研修室	延人数	
令和2年度	340	452	27	819	1,088,200
令和元年度	1,306	1,462	187	2,955	3,122,300
平成30年度	1,680	1,850	0	3,530	3,634,300
前年度比較増減	△ 966	△ 1,010	△ 160	△ 2,136	△ 2,034,100

【わんぱくハウス】

年 度	利用日数	利用者数
令和2年度	40	470
令和元年度	80	1,281
平成30年度	90	1,512
前年度比較増減	△ 40	△ 811

【視聴覚センター】

年 度	利用者数	利用回数	機器・教材貸出件数
令和2年度	390	29	
令和元年度	1,640	142	15
平成30年度	1,802	184	13
前年度比較増減	△ 1,250	△ 113	△ 15

【郷土資料館】

年 度	入館者数	入館料
令和2年度	2,066	166,500
令和元年度	1,869	191,170
平成30年度	3,615	363,250
前年度比較増減	197	△ 24,670

【市民ギャラリー】

年 度	入館者数	展示室等	
		利用回数	使用料
令和2年度	0	0	0
令和元年度	2,559	112	156,345
平成30年度	2,893	82	192,255
前年度比較増減	△ 2,559	△ 112	△ 156,345

※令和2年度から休館

【公民館 11館】

年 度	主催事業		会議室(貸館)		合計	
	回数	参加者数	回数	使用者数	回数	使用者数
令和2年度	198	2,342	3,651	29,390	3,849	31,732
令和元年度	328	6,884	5,588	59,157	5,916	66,041
平成30年度	358	9,630	6,262	64,247	6,620	73,877
前年度比較増減	△ 130	△ 4,542	△ 1,937	△ 29,767	△ 2,067	△ 34,309

【図書館】

年 度	入館者数	貸出人数	貸出冊数
令和2年度	43,598	23,822	102,713
令和元年度	54,229	28,830	120,094
平成30年度	59,439	31,527	118,236
前年度比較増減	△ 10,631	△ 5,008	△ 17,381

鴨川市の生涯学習

鴨川市教育委員会 生涯学習課



(1) 基本方針

家庭や地域での子どもの体験教室やキャリア学習、生活を豊かにする社会教育活動を通じて、市民が趣味やスポーツなどに親しみ、様々な問題解決や自己の希望の実現に向け、いきいきと学ぶことのできる『市民一人ひとりが輝く生涯学習のまちづくり』を推進する。

また、生涯学習を学ぶ住民に、一方的・固定的な学習活動を進めるのではなく、市民同士がお互いに尊重し合い、教え合い、学び合う生涯学習活動の充実を図る。

さらに、市内に関係施設がある大学との連携により、大学の持つ知的財産を市民に還元し、学習機会の拡充を図るとともに、若者の地域離れが進むなか、市民が各地域の自然や歴史、文化などを活かし、趣味や地域学習などを通じて、お互いに交流し、活動する魅力あるコミュニティづくりを推進する。

(2) 主な施策

① 生涯学習の振興

誰もがいつでも、どこでも学びたいときに学ぶことができ、その学びの成果を適切に活かせる社会が生涯学習の目指す姿です。このため、市民が家庭や地域で子どもから大人までを対象とした多様な体験学習をはじめ、生活を豊かにする学習活動・読書活動、趣味やスポーツなどに意欲的に取り組める生涯学習環境づくりを進め、自己実現を支援するとともに、地域コミュニティを育てていきます。図書館においては、多様化した市民ニーズに対応した事業展開を図るとともに、その担い手となる人材の育成に努めます。

●多彩な学習活動の促進

- ・公民館事業の充実
- ・市内に関係施設のある大学との連携
- ・市民が学びやすい環境づくり
- ・青少年海外派遣の推進

●社会教育関連施設の充実

- ・社会教育関連施設の整備

●読書・学習環境の充実

- ・生涯型読書活動の推進
- ・図書資料の整備・充実
- ・子どもの読書活動と習慣づけの推進

② 青少年の健全育成

本市の次代を担う青少年が、自らの能力や個性を十分に発揮して自立するとともに、地域の担い手として活躍できるように、学校、家庭、地域、関係機関等が連携しながら、子どもたちの成長と自立を支援する仕組みづくりを推進します。あわせて青少年が様々な体験・交流活動、社会活動等に参加する機会を拡充するとともに、地域活動の活発化や指導者の育成に努めます。

●啓発活動の促進

- ・青少年の健全育成に関する啓発の推進

●青少年育成団体活動の活性化及び地域との連携強化

- ・青少年育成団体の活動の活性化
- ・青少年育成団体と地域の連携強化

③ 市民文化の振興

市民一人ひとりがふるさとの文化に触れ、心豊かな生活を送ることができるよう、音楽や芸能などを含めた市民の多様な文化芸術活動を支援するとともに、様々な分野の文化・芸術に接する機会や活動成果の発表の場の拡充を図ります。さらに、市民の文化芸術活動の拠点となる施設の整備の検討を進めます。

また、市民が本市固有の歴史や文化を理解し、郷土愛と誇りを持てるよう、鴨川市の貴重な文化財の保護・保全と潜在的な文化資源の掘り起こしに努め、文化財保護法の改正を踏まえた文化財の活用を推進します。

●芸術、文化の振興

- ・文化・芸術の振興

●文化施設の充実

- ・文化活動の拠点施設の整備・活用

●歴史・文化の保全と活用

- ・指定文化財保護活動の支援と適切な保護の推進
- ・市史の編さん、史・資料調査と保存・活用
- ・地域の歴史・文化資源の周知と有効活用

④ 家庭と地域の教育力向上

核家族化や少子高齢化が進む影響などにより、子どもと家庭を支える環境が変化しており、地域のつながりや支えあいの重要性が再認識されているとともに、子どもが育つ基盤である家庭の教育力を高めていくことが重要となっています。このため、教育の出発点である家庭教育について親子が一緒に体験して学習する場づくり、子育て支援ネットワークづくりなどを推進し、親の育てる力・家庭教育力が高められるよう支援します。地域では、地域住民のつながりや支えあいによる地域コミュニティの形成や、学校、家庭、地域、関係機関等との力強い連携により、子どもに関わり、育ちを応援する地域づくりを進めます。あわせて、誰もが安心して学ぶことができ、その取組が人づくり・地域づくりに活かせる環境づくりを進め、市民の学びを支援して地域の教育力の向上を目指します。

●親が育つ環境づくり

- ・家庭教育の支援
- ・保護者活動の支援

令和3年度 社会教育関係予算【歳入】

(単位:円)

[款14]使用料及び手数料 [項 1]使用料 [目 7]教育使用料 [節 3]社会教育使用料

事業	予算額	備考
郷土資料館使用料	180,000	
行政財産使用料	186,000	
計	366,000	

[款16]県支出金 [項 2]県補助金 [目 9]教育費県補助金 [節 4]社会教育費補助金

事業	予算額	備考
青少年相談員活動費補助金	310,000	
放課後子ども教室推進事業費補助金	1,204,000	
計	1,514,000	

[款16]県支出金 [項 3]委託金 [目 6]教育費委託金 [節 1]教育総務費委託金

事業	予算額	備考
教育委員会権限委譲事務交付金	30,000	
計	30,000	

[款21]諸収入 [項 4]雑入 [目 5]雑入 [節 2]雑入

事業	予算額	備考
鴨川市史等頒布代	100,000	
鴨川市文化財図録等頒布代	8,000	
放課後子ども教室参加児童保険料自己負担金	240,000	
計	348,000	

令和3年度 社会教育関係予算【歳出】

[款10]教育費 [項 5]社会教育費
[目 1]社会教育総務費

(単位:円)

事業	予算額	備 考 (主な支出内訳)
基金積立金(文化振興)	8,009,013	・文化振興基金積立金(令和元年度末基金総額)
職員人件費(生涯学習課)	55,579,000	
社会教育総務事務費	126,000	・ボランティア保険料64,000(文化施設・生涯学習人材) ・各種負担金72,000
社会教育委員会運営事業	127,000	・社会教育委員報酬100,000 ・費用弁償27,000
社会教育指導員設置事業	1,803,000	・会計年度任用職員報酬1,562,000 ・費用弁償52,000 ・期末手当181,000
家庭教育指導員設置事業	1,721,000	・会計年度任用職員報酬1,562,000 ・費用弁償100,000
青少年海外派遣事業	0	0 昨年度に引き続き実施中止
視聴覚センター運営事業	25,000	・消耗品費25,000
社会教育団体補助事業	1,027,000	・補助金(青少年相談員連絡協議会・公立学校PTA連絡協議会・ホームスカ ウト・子ども会育成連盟連絡協議会・青少年育成事業)
生涯学習団体育成事業	69,000	[青少年健全育成推進大会] ・賞賜品27,000 ・講師謝礼30,000
人権教育推進事業	62,000	・光熱水費等(東町集会所)
移動教室バス事業	6,856,000	・会計年度任用職員報酬4,140,000 ・期末手当360,000 ・燃料費1,053,000・修繕料775,000(車検・3ヶ月定期点検) ・自動車損害保険料185,000 ・自動車重量税145,000
文化施設運営協議会運営事業	80,000	[文化施設運営協議会委員会議] ・委員報酬70,000
文化活動事業	1,849,000	・文化活動事業委託料849,000(鴨川市文化祭・市民音楽祭) ・活動補助金95,000(鴨川市文化協会・郷土史研究会) ・文化活動事業補助金 10団体×100,000円
大学等交流事業	439,000	・委託料320,000(早稲田 大学交流事業「おもしろ科学実験教室都内出張型」) ・有料道路通行料42,000 ・消耗品費74,000円
放課後子ども教室運営事業	2,049,000	・講師謝礼金1,395,000 ・消耗品費224,000 ・放課後子ども教室参加保険料240,000
成人式事業	924,000	・記念品代374,600 ・施設借上料462,000(鴨川シーワールド)
中学生職場体験事業	152,000	・印刷製本費88,000(中学生職場体験学習)
計	72,888,000	

[目 2]公民館費

事業	予算額	備考 (主な支出内訳)
職員人件費(公民館)	15,835,000	
公民館事務費	26,082,000	・会計年度任用職員報酬22,342,000 ・費用弁償734,000 ・期末手当1,875,000 ・電話料396,000
公民館維持管理費	14,180,000	・光熱水費7,000,000・修繕料1,470,000(11公民館分) ・委託料3,468,000(機器等処分委託料、浄化槽清掃、電気保安業務保守、空調設備保守) ・土地借上料1,602,000(東条・吉尾公民館)
公民館教室開催事業	1,336,000	・公民館教室講師謝礼金1,100,000 ・公民館まつりゲスト出演者謝礼金100,000
計	57,433,000	

[目 3]図書館費

事業	予算額	備考 (主な支出内訳)
職員人件費(図書館)	17,622,000	・一般職給料10,049,000 ・期末手当2,228,000 ・勤勉手当1,628,000 ・通勤手当270,000 ・時間外勤務手当649,000 ・共済組合一般負担金2,798,000
図書館事務費	8,227,000	・会計年度任用職員報酬7,024,000 ・費用弁償318,000 ・期末手当511,000 ・通信運搬費139,000
図書館維持管理費	6,250,000	・光熱水費2,293,000 ・消耗品費236,000 ・委託料1,150,000 (電気保安業務保守委託・図書館管理システム保守委託・警備業務他) ・修繕料448,000 (身障者用駐車場整備、照明LEDランプ) ・図書館管理システム機器等リース料888,000 ・図書館管理システム使用料1,056,000
図書館協議会運営事業	46,000	・図書館協議会委員報酬40,000 ・費用弁償6,000
図書・AV資料購入事業	7,069,000	・図書・AV資料購入費4,997,000 ・図書専用ホームページ使用料528,000 ・消耗品1,544,000
図書館学習等事業	1,044,000	・講師謝礼220,000 ・報償品795,000(30周年記念バッグ、ブックスタート事業)
計	40,258,000	

[目 4]文化財保護費

事業	予算額	備考 (主な支出内訳)
文化財保護事業	593,000	・文化財保護審議会委員報酬70,000 ・清澄大スキ保存整備補助金241,000 ・無形民俗文化財保存補助金166,000(長狭流鏑馬保存会・大浦水交団・和泉の三役保存会)
計	593,000	

[目 5]青少年研修施設費

事業	予算額	備考 (主な支出内訳)
青少年研修センター維持管理費	1,783,000	・委託料1,000,000(青少年研修センター指定管理料) ・土地借上料783,000
わんぱくハウス維持管理費	366,000	・光熱水費166,000 ・委託料123,000(浄化槽保守管理委託料・浄化槽清掃委託料)
計	2,149,000	

[目 6]郷土資料館費

事業	予算額	備考 (主な支出内訳)
職員人件費(郷土資料館)	13,707,000	
郷土資料館等事務費	4,059,000	・会計年度任用職員報酬3,207,000
郷土資料館維持管理費	4,718,000	・光熱水費1,392,000 ・土地借上料2,439,000 ・委託料794,000(電気保安業務保守委託・警備業務委託・浄化槽清掃委託・空調設備法定点検委託) ※本年度より文化財維持管理費を統合
資料館展示事業	246,000	・印刷製本費110,000(企画展ポスター、案内リーフレット他)
計	22,730,000	

[目 7]市民ギャラリー費

事業	予算額	備考 (主な支出内訳)
市民ギャラリー維持管理費	531,000	・光熱水費219,000 ・委託料265,000(警備業務委託・浄化槽清掃) ・電話料45,000
計	531,000	

[目 8]市史編さん費

事業	予算額	備考 (主な支出内訳)
市史編さん事務費	14,000	・負担金8,000(千葉県史料保存活用連絡協議会市町村等負担金)
市史編さん委員設置事業	2,192,000	・市史編さん委員会委員報酬1,822,000
市史発刊事業	451,000	・『主基のあゆみ改訂版』印刷製本414,000
計	2,657,000	

社会教育費 計	199,239,000
---------	-------------

令和3年度

鴨川市教育委員会生涯学習課 事業計画

令和3年度 社会教育係・青少年係 事業計画

期 日	曜 日	事業名及び会場	事業内容	備考
4月19日	月	鴨川市青少年相談員連絡協議会総会 ○会場：鴨川市文化体育館	令和2年度事業報告・決算報告 令和3年度事業計画案、予算案 役員（理事のみ）改選	
4月30日	金	青少年育成鴨川市民会議ゴールデンウィークパトロール ○場所：安房鴨川駅周辺	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施する。	
5月15日	土	大学交流事業・東京大学 「野鳥の巣箱をかけよう！」観察会 ○会場：東京大学千葉演習林清澄作業所	本市にある東京大学千葉演習林清澄作業所における自然観察イベント。昨年11月に親子で作成した巣箱の観察会。巣箱の作成・設置、観察会を一貫の事業として実施する。	
5月16日	日	鴨川市青少年相談員施設整備 ○場所：わんぱくハウス	青少年相談員によるわんぱくハウス内の清掃及びハウス周辺の草刈作業	
5月16日	日	鴨川市子ども会育成連盟総会 ○会場：鴨川市文化体育館	令和2年度事業・決算報告 令和3年度事業計画案・予算案・表彰他	
5月18日	火	鴨川市公立学校PTA連絡協議会総会 ○会場：鴨川市役所	令和2年度事業・決算報告 令和3年度事業計画案・予算案・表彰他	
6月13日	日	青少年育成鴨川市民会議代議員総会 ○会場：文化体育館2階トレーニングルーム 兼会議室	令和2年度事業報告 令和3年度事業計画案他	
6月20日	日	少年の日のつどい安房地区大会 ○会場：館山運動公園体育館 ○参加：鴨川小・天津小湊小・西条小・長狭小児童 ○種目：ドッジボール大会	安房地区の青少年が、スポーツレクリエーション及び文化活動を通して相互の親睦・友情を深め、青少年として自覚と誇りを高めることを目的に実施する。	中止
		安房地区青少年相談員課題研修会 ○会場：館山運動公園体育館 ○内容：アイスブレイクなど	青少年相談員が、青少年を心身ともに健全に育成するため、その心構えや青少年の健康・体力づくりに必要な知識等を習得し、指導者としての資質や活動意欲の向上を図り、今後の青少年相談員活動の一助とすることを目的に実施。	中止
6月26日	土	大学交流事業・千葉大学 「磯の生き物観察会」 ○場所：千葉大学海洋バイオシステム研究センター ○対象：市内小学3～6年生	海や自然の素晴らしさを学ぶことを目的に実施。磯の生き物の観察やスケッチ、水族館・標本室の見学。	中止
6月27日	日	安房郡市子ども会育成者講習会 ○会場：未定 ○対象：安房郡市子ども会育成者及び指導者	子ども会の意義や育成者の役割を理解し、育成者・指導者に必要な知識・技術の習得と子ども会活動の振興を図る。	中止
6月下旬	土	鴨川市土曜スクール合同事業 「亀田医療大学交流事業」 ○会場：亀田医療大学	各種医療体験等を通じた学生等との交流	実施は要検討
7月4日	日	青少年のつどい鴨川市大会 ○会場及び種目：鴨川市総合運動施設野球場（ソフトボール） ○対象：市内小学生		中止
7月11日	日	青少年のつどい鴨川市大会 ○会場及び種目：鴨川市立江見小学校体育館（ミニバス） ○対象：市内小学生	将来を期待される青少年が、自らスポーツを通じて健全な精神、健全な身体を養い、友情を深めるとともに青少年相互の交流親善を図る。	中止

期 日	曜日	事業名及び会場	事業内容	備考
7月上旬		社会教育委員会議 ○会場：天津小湊支所会議室 ○対象：社会教育委員	令和2年度教育行政評価報告書(案)	
7月上旬 ～9月上旬	土・ 日・祝	青少年相談員夏期パトロール ○場所：海岸及び各イベント会場周辺並びに 市内各地区	子ども達に対する防犯活動及び犯罪の発生抑止活動として実施。	
7月下旬 ～8月上旬		青少年海外派遣事業 ○派遣先：アメリカ合衆国ウィスコンシン州 マディソン市 ○派遣者：市内在住の高校生及び中学生	青少年を海外に派遣し、訪問先の青少年との親善及び交流等を通じて訪問国への友好と理解を深めるとともに、青少年の国際的視野と国際感覚豊かな人間の育成に資することを目的として実施。	中止
7月29日	木	青少年育成鴨川市民会議花火大会パトロール ○場所：前原・横渚海岸周辺	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施。	
8月上旬	火～金	中学生職場体験学習 ○場所：市内公共機関・企業・店舗 ○対象：市内中学校2年生	市内中学校2年生が一斉に、市内において、2～3日間の職場体験学習を実施。	中止
8月中旬		青少年育成鴨川市民会議歩行者天国パトロール ○場所：前原・横渚海岸周辺	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施。	
8月中旬		大学交流事業・早稲田大学 「おもしろ科学実験教室(出張型)」 ○場所：早稲田大学理工学部 ○対象：市内小学生40名程度	小学生を対象に、科学の楽しさ知ってもらうための交流事業。今回はオリバラの関係で大学と協議し、市から大学へ出張する形となった。	中止
8月20日 21日	金・土	鴨川市子ども会ジュニアリーダー講習会 ○会場：鴨川青年の家 ○対象：小学校6年生(各地区単位子ども会 リーダー、天津小湊小児童)	市内子ども会のリーダーを集め、1泊2日の団体行動を通して親睦交流を深め、地域のリーダーとしての意識の高揚を図ることを目的として実施。	
9月中旬	土・日	青少年育成鴨川市民会議鴨川合同祭パトロール ○場所：祭典会場等	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施。	
9月19日	日	鴨川市公立学校PTA連絡協議会バレーボール大会 ○会場：鴨川中学校 ○対象：市内PTA会員バレーボール部員	バレーボール競技の交歓大会を通して市内幼小中PTA会員相互の親睦を図り、PTA活動の推進意欲の高揚を図る。	
10月10日	日	安房郡市PTAバレーボール大会 ○会場：丸山体育館・嶺南小体育館 ○対象：安房郡市内PTAバレーボール部員	バレーボール競技の交歓大会を通して安房地方幼小中PTA会員相互の親睦を図り、PTA活動の推進意欲の高揚を図る。	
10月15日	土	鴨川市土曜スクール合同事業 「ポッチャフェスタ」 ○会場：江見小学校体育館	ポッチャを通じた異なるスクールの児童との交流	
10月中旬	土	交流事業・早稲田大学 音語りツアー ○場所：早稲田キャンパス ○募集数：20名程度	市民が大学の文化に触れ、また直接大学の施設などを見学することにより、大学への理解を深めるため。	早稲田大学文化芸術週間は10/11～21の間で開催予定
10月中旬	土	家庭教育講演会 ○場所：鴨川市文化体育館 ○対象：子どもの保護者・家族、教育関係者、中学生、高校生、その他希望者 ○テーマ及び講師：未定	家庭教育、地域社会での子育てについて学び合う場として講演会を実施。	
11月7日	日	千葉県PTA研究大会習志野大会 ○会場：未定 ○対象：PTA会員	県下PTA会員の総意を結集し、社会の変動に対応できる研究活動の充実促進によって会員の資質向上を図り、当面の課題の解決とその実践に努める。	

期 日	曜 日	事業名及び会場	事業内容	備考
11月13日	土	大学交流事業・東洋大学文学講座 ○会場：鴨川市役所4F大会議室（予定） ○定員：20名 ○テーマ：「あまり飲まないほうがいい薬の話」	大学が有する知的財産を広く地域に還元するために実施。また、市民の生涯学習機会の充実を図る。	
11月20日	土	鴨川市土曜スクール合同事業 「県立鴨川青年の家交流事業」 ○会場：県立鴨川青年の家	県立鴨川青年の家における体験活動（スポーツ活動）を通じた異なるスクールの児童との交流	
11月下旬	未定	大学交流事業・東京大学 「キャンパスツアー」 ○場所：本郷キャンパス ○募集数：20名程度	市民がキャンパスを訪れ、直接大学の施設などを見学することにより、大学への理解を深める。	現在はオンラインツアーのみ開催
11月28日	日	鴨川市青少年健全育成推進大会 （青少年育成指導者研修会） ○会場：未定 ○テーマ：未定 ○講師：未定	明るい地域や家庭づくりのほか、いじめの撲滅、青少年の非行防止等をテーマとした作文・標語の表彰・発表や青少年育成指導者研修を通じて、青少年問題に対する地域社会での様々な取組みや方策を探ることで、地域住民の意識を高め、もって青少年健全育成の推進を図ることを目的に実施。	
11月～ 12月初旬	土	交流事業・東京大学 「野鳥の巣箱をかけよう！」 ○会場：東京大学千葉演習林清澄作業所 ○定員：10名（市内の小学1～6年生）	本市にある東京大学千葉演習林清澄作業所における自然観察イベント。親子で野鳥の巣箱を作り設置し、来春の巣箱観察までを一貫の事業として実施。	
未 定	土	大学交流事業・城西国際大学公開講座 ○場所：城西国際大学観光学部 第1回 テーマ及び講師：未定	大学が有する知的財産を広く地域に還元するために実施。また、市民の生涯学習機会の充実を図る。	秋期授業から対面方式予定
12月2日	木	第56回千葉県社会教育振興大会 ○会場：千葉県総合教育センター ○対象：社会教育関係者	社会教育の推進について情報交換をするとともに、研修を深め、千葉県の社会教育の振興を図る。	
12月4日	土	鴨川市子ども会球技大会 ○会場：鴨川市文化体育館 ○対象：市内小学1～6年生 ○内容：ドッジボール	市内の子ども達が、自らスポーツを通じて友情を深め、明るく健全な精神と体力づくりを培う。チームを分けて、ブロック毎に総当たり戦を行う。	
12月中旬		安房郡市子ども会育成連盟ジュニアリーダー認定講習会 ○会場：鴨川青年の家 ○募集数：20名程度（安房で70名程度） ※市内子ども会会員及び天津小湊小学校の5～6年生	子ども会ジュニア・リーダー（初級）として必要な知識及び技能を修得するための講習会。レクリエーションやウォークラリー等を通して親睦を深めるとともに、救急法について学び、地域のリーダーとしての自覚を高める。	
未 定	土	大学交流事業・城西国際大学公開講座 ○場所：城西国際大学観光学部 第2回 テーマ及び講師：未定	大学が有する知的財産を広く地域に還元するために実施。また、市民の生涯学習機会の充実を図る。	秋期授業から対面方式予定
12月下旬		青少年育成鴨川市民会議学校冬季休業パトロール ○場所：安房鴨川駅周辺	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施。	
令和4年 1月9日	日	令和3年度 成人式 ○会場：鴨川シーワールド ○対象者数：約350名 （平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれの方。平成28年度市内中学校を卒業された方など市内出身者）	新たに大人の一員となる新成人に市として祝意を示す。新成人による実行委員会を立ち上げ、企画・運営を行う。シーワールド会場の式典は18回目。	
1月下旬		社会教育委員会議 ○会場：天津小湊支所3階会議室 ○対象：社会教育委員	令和4年度生涯学習課事業計画等について	
2月5日	土	第56回安房地区社会教育振興大会 ○会場：鋸南町中央公民館 ○対象：社会教育関係者	功労者表彰・教育講演、各種団体発表等	

期 日	曜日	事業名及び会場	事業内容	備考
2月中旬	土	鴨川市土曜スクール合同事業 「タグラグビーフェスティバル」 ○会場：鴨川市文化体育館及びサッカー場	タグラグビーを通じた異なるスクールの児童との交流	
3月6日	日	鴨川市子ども会ウォークラリー大会 ○会場：鴨川市文化体育館 ○対象：市内子ども会小学1～6年生	ウォークラリーを通じて自然に親しみながら、市内の子どもたちの体力づくりと仲間づくりの一助とする。	
3月下旬		青少年育成鴨川市民会議学校春季休業パトロール ○場所：安房鴨川駅周辺	子どもたちへの防犯活動と犯罪の発生抑止活動として防犯パトロールを実施する。	
通 年	水～金	家庭教育指導員の相談事業と指導支援 ○会場：天津小湊公民館家庭教育相談室、他市内公民館等 ○対象：市内幼稚園児・小学生・中学生・高校生及び保護者・教師・成人 ○相談員：2名	心の発達上の問題や、不登校・いじめ・ひきこもり・家庭内暴力などの問題行動等の個人面談及び電話相談の実施。 また、各地区の子育て学習会での指導・助言などを行う。	
	土曜日等	放課後子ども教室(土曜スクール)推進事業 ○対象：小学1～6年生 ○指導者：市内(各地域)のボランティア ○教室：田原土曜スクール、西条土曜スクール、エンジョイスクール鯛(天津小湊)、江見小わくわくスクール、Weekend School 未来塾(長狭)、東条なごやかスクール、鴨小スマイルスクール(以上7スクール)	週末の土曜日を中心に、学校施設や社会教育施設、社会体育施設等を活用し、学習はもとより、子どもたちの異学年交流や地域の方々が講師となった体験活動を行うことで、地域を愛する心の育成と体の健やかな成長を図ることを目的として実施。	

令和3年度 文化振興室事業計画

年	月	日	事業名・展示会名	場 所	備 考
3	8～10	1～3	収蔵資料展「蔵出し!カメラコレクション」	郷土資料館	8/1～10/3開催
	8	上旬	中学生職場体験	郷土資料館	中止
	9	上旬～中旬	特別展示「鴨川の祭り」	未定	
		未定	資料展「明治大嘗祭150年・主基斎田(仮称)」	郷土資料館	明治神宮・甲府市連携予定
	11	上旬～中旬	第50回鴨川市文化祭	郷土資料館	
		23	第47回市民音楽祭	グランドホテル	
	12～2	未定	企画展「没後10年・長谷川昂作品展(仮称)」	郷土資料館	
未定			絵画・彫刻等美術収蔵品 展示会	郷土資料館	
			アート鑑賞ツアー	未定	
			小学校クラブ活動	東条・天津小湊小学校	
通年			市内外・小学3・4年総合学習見学	郷土資料館	
			鴨川市郷土資料館公式Twitter広報事業	市内	
その他			ボランティア活用事業(展示補助・出前講座補助)	郷土資料館 文化財センター	
			展示室貸出	郷土資料館	
			公民館講座等出前講座	市内	
			文化財等資料調査点検事業	市内	

令和3年度 鴨川市立図書館 事業計画

期 日	曜日	事 業 名	事業概要
4月～3月	毎月第2木を基本に実施	～定例行事～ 「おひざにだっこのおはなし会」 ※文化施設ボランティアの活用 *会場：図書館 *対象：0～3歳児	手遊びやわらべ唄なども含めた読み聞かせを実施。乳幼児にお勧めの図書も紹介。依頼により「出張おひざにだっこのおはなし会」も実施している。
4月～3月	毎月第4土を基本に実施	～定例行事～「おはなしひろば」 ※文化施設ボランティアの活用 *会場：図書館 *対象：4歳位～小学校低学年 *出張：市内各幼・保・小学校や学童等	エプロンシアターや紙芝居なども取り入れた読み聞かせ。季節に合わせた工作なども実施。土曜スクールや学童からの依頼により「出張おはなしひろば」も実施している。
4～3月	毎月第3土を基本に実施	～定例行事～ 「なかよしひろばおはなし会」 ※文化施設ボランティアの活用 *会場：大山公民館図書館分室 *対象：幼児～小学校低学年	紙芝居や大型絵本の読み聞かせの他、簡単な工作も取り入れたお話し会。図書館から遠い地域に住む方も参加できるよう分室での実施。
練習毎月1回 年2回程度発表	火	「お話を楽しむ会」 ※文化施設ボランティアの活用 *会場：図書館 *対象：一般成人他	一般成人を対象とした朗読会。名作の朗読を中心に、郷土の文学・民話なども朗読。年2～3回実施予定。デイスサービスや福祉施設からの依頼により「出張お話を楽しむ会」も実施している。
6月12日 8月28日 開催予定	土	「世界の絵本を楽しもう」 *会場：図書館 *内容：英語と韓国語の読み聞かせ *対象：小学校低学年まで	小学校での英語教育が本格的に取り入れられたため、幼い子どもを対象に国際理解を深める機会とした。
6月6日・20日 7月4日 開催予定	日	「子ども司書講座」 *会場：図書館 *対象：小学3年生～小学6年生 *募集人数：10名	図書館の仕事を体験し、図書の大切さを学んでもらう事を通して、図書館に親しんでもらう事を目的に実施する。全講座に参加した児童には認定証を授与。
7月31日 開催予定	土	「ピエロショー」 *会場：図書館 *対象：市内小学生以下 *募集人数：25名	
8月15日 12月11日 開催予定	日 土	「映画上映会」 *会場：図書館 *対象：図書館利用者	小説等が原作となっている映画作品の上映会を開催することで、映画鑑賞の楽しみや原作本への関心をより多く市民にもっていただく。
9月11日 1月29日 開催予定	土	「俳句入門講座」 *会場：図書館 *講師：東國人氏 *対象：成人一般	古典文学や伝統芸能に親しむ機会として、最も短くて奥行きのある文学といわれる俳句を取り上げる。
10月 開催予定	未定	「鴨川市立図書館文学講座」 *会場：図書館 *講師：河地修 東洋大学名誉教授 *対象：成人一般	古典文学を楽しむ機会として実施。平成30年度から令和2年度は「伊勢物語」を開催。今年度は「方丈記」を予定している。図書館行事の要となる事業。

期 日	曜 日	事 業 名	事業概要
12月5日 開催予定	日	「本のリサイクル市」 *会場：図書館 *提供冊数：約2500冊 1人：10点まで	市民の方々より寄贈していただいた図書の内、図書館として受け入れしなかったが、図書としての機能を失っていない再利用可能な資料を利用者へ無償で譲渡。資源の有効課活用を図る。
1月4日～ 開催予定	火～日	「本の福袋」 *対象：図書館利用者 *配布数：60袋	テーマに合わせた図書を一袋に3冊入れ利用者へ貸出する。普段は手に取らない本との出会いに読書の幅を広げてもらう事を目的に実施する予定。
1月中旬 開催予定	日	「文化施設ボランティア スキルアップ研修会」 *会場：鴨川青年の家 *講師：未定 *内容：未定	読み聞かせボランティアのスキルアップ研修会を実施し、日頃の活動への疑問や不安などにアドバイスをもらい、活動の幅をひろげていく。
2月5日 開催予定	土	「ぬいぐるみのおとまり会」 *会場：図書館 *対象：小学2年生以下	小さな頃から図書館に親しみ、絵本の楽しさを知って貰う事を目的に実施。子どもたちの大切なぬいぐるみを一晩図書館で過ごさせ、夜の様子を写したアルバム、やぬいぐるみが選んだ絵本を持ち帰り楽しんで貰う。
通年	随時	「赤ちゃんに絵本の贈り物」 ～ブックスタート事業～ *対象：令和2年4月1日以降に 生まれた0歳児	ふれあいセンター、民生児童委員により説明資料及び引換券を配布。対象者が図書館へ来館した際、記念バッグと絵本1冊、「おすすめの絵本リスト」1部をプレゼント。絵本を介して親子の絆を深めてもらう鴨川市子育て支援事業の一環。
	随時	「公民館図書館分室の充実」 *江見分室（蔵書約800冊） *大山分室（蔵書約2600冊） *曾呂分室（蔵書約800冊） *天津小湊分室（蔵書約4500冊）	遠隔地域住民へのサービスとして、利用者のニーズに応えながら更なる充実を図る。新刊図書を購入し、学習にも利用できる図書館分室の運営を目指す。
	随時	「公民館での予約本 受け取りサービス」 *対象：図書館利用者 *場所：市内全公民館	図書館まで来ることが困難な方のために、事前に図書館へ予約した本を希望する市内の公民館へお届けするサービス。市民の利便性を向上させる。
	随時	「市内小・中学校図書配本事業」 *対象：市内7小学校 市内3中学校 *配本冊数：小学校100冊～200冊 中学校約840冊	市内の小・中学生の読書力向上と読書の習慣づけを目指し、図書館からおすすめる本を配本。新刊図書の購入や、定期的な本の入れ替えにより事業の充実を図っていく。

令和3年度 鴨川市各公民館 事業計画

※令和3年6月23日現在 主催事業一覧

	NO	教室名	開催時期	募 集	内 容
中央公民館	1	ハイキング教室	不定期	未定	無理のないウォーキングやハイキングを通して楽しく健康づくり。
	2	文化を楽しむ教室	不定期	未定	音楽鑑賞や美術館を訪ねる等、様々な文化を楽しむ教養を深める。
	3	いきいき教室	不定期	未定	社会見学や体験活動を通して楽しい生活作りを考える。
	4	あなたの命を守る教室	9/9 10/26	15人	災害から私たちはどのように身の安全を図れば良いのか専門家に教えていただきます。
	5	免疫生活のすすめ	第4 木曜日	20人	新型コロナウイルス感染症を含め免疫のことを知ることで健康を見直していきます。
	6	おらが学	第3 火曜日	25人	これまであまり知られていない鴨川とその周辺地域の歴史を郷土資料館の資料を元に探していきます。
	7	楽しい歌声教室	第1 水曜日	未定	親しみやすい日本の歌や世界の歌を講師と共に楽しく歌い健康面、精神面の増進を図る。
	8	生活書道	第2 火曜日	7人	書道にもいろいろありますが、冠婚葬祭やちょっとしたときに必要な毛筆を練習する。
	9	見たり・聞いたり安房の国	不定期	未定	安房館内の公民館で各1回講座を担当し、全4回の予定で「安房の国」を巡ります。
	10	家庭教育学級	7/9 11/12	鴨川認定こども園の園児と保護者対象	鴨川認定こども園の園児・保護者を対象に子育てについての講話と親子のスキンシップを図るため親子でレクリエーション等を行う。
東条公民館	NO	教室名	開催時期	募 集	内 容
	1	ハイキング教室	不定期	未定	風光明媚な景色を楽しみながらハイキングをすることで、楽しく健康づくりをする。
	2	文化・芸術鑑賞教室	不定期	未定	心豊かで充実した生活が送れるよう、様々な文化や芸術に触れる。
	3	いきいき教室	不定期	未定	仲間との交流、社会見学や体験活動を通して、楽しく生きがいつくりをする。
	4	日本人の免疫システム	第2 木曜日	22人	健康管理士の指導のもと、日本人の体質による健康管理と免疫について学ぶ。
	5	健康寿命は延ばせる～共に考えよう健康法～	第2 金曜日	10人	健康寿命を延ばすための食事、運動、心の持ち方など講義と簡単な体操を通して学ぶ。
	6	健康ヨガ教室	第2 木曜日	22人	ヨガの基本的な動きと呼吸法を学び、体のバランスを整え健康づくりに役立てる。
	7	初心者のための気功・太極拳入門教室	第3 水曜日	25人	本気で健康づくりを考えている方の教室。気功・太極拳を基礎から学ぶ。
	8	東条公民館発着ミニウォーキング教室	第2 水曜日	30人	東条公民館発着80分～90分程度のミニウォーキング。四季折々の風景を楽しみながら色々なコースを歩きます。
	9	スマイル歌声教室	第3 火曜日	未定	童謡やリクエスト曲をみんなで心を合わせ、楽しく歌うことで生きがいつくりをする。
	10	スローエアロビ教室	第4 金曜日	25人	ゆったりとした動きのエアロビ体験をすることで健康づくりに役立てる。
	11	初心者のための水彩画教室	第4 火曜日	11人	初心者対象で、静物画や風景画などスケッチや色の付け方など基礎から学びます。
	12	初心者のための書道教室	第4 水曜日	15人	初心者対象で、筆の持ち方や筆運びなど基礎から学びます。
	13	白磁の絵付けと季節の花折り紙教室	9/24 11/26	9人	指先を使い、マグカップや皿などの白磁に絵付けをしたり、季節の花を折り紙で作成。
	14	初心者スマホ教室	10/5・10/19 11/2	8月1日号 広報募集	スマートフォンの基本操作やネット検索、地図などの便利なアプリの使い方、セキュリティなどについて学びます。

	NO	教室名	開催時期	募 集	内 容
西条公民館	1	リフレッシュ体操教室	第2 火曜日	20人	ストレッチ体操やリンパの流れを良くするマッサージなどで、コリや疲れをとり元気になる。
	2	生き生き教室	不定期	未定	館外での社会見学（史跡・博物館・公園・工場等）を行い、知識や教養を深める。
	3	里山の観察教室	不定期	未定	里山の植物を中心に観察しながら4～6km程度歩く。
	4	健康ヨガ教室	第1 木曜日	20人	呼吸法を大切にしたいヨガの動きで血行を促進し心身をリラックスさせる。
	5	家庭教育学級	7/20 12/23	西条認定こども園の園児と保護者対象	西条認定こども園の園児・保護者を対象に子育てについての講話と親子のスキンシップを図るため親子でレクリエーションを行う。
	6	スローエアロビック教室	第3 金曜日	20人	ひねる、体側を伸ばす、胸を開くなどを基本動作とする、誰でもできるスローエアロビックです。体力や健康の増進を図る。
	NO	教室名	開催時期	募 集	内 容
田原公民館	1	自然と文化教室	不定期	未定	より豊かな人生が過ごせるようにするため、身近な自然に親しみ季節を感じたり、郷土等の歴史や文化財等を探訪し知識や教養を深める。
	2	家庭教育学級	6/30 12/23	田原認定こども園の園児と保護者対象	田原認定こども園の園児・保護者を対象に子育てについての講話と親子のスキンシップを図るため親子でレクリエーションを行う。
	3	健康ヨガ教室	第1 水曜日	20人	呼吸法を大切にしたいヨガの動きで血行を促進し心身をリラックスさせる。
	4	エアロビック教室	第2 木曜日	20人	有酸素運動とストレッチを中心に行うエアロビック体操。気力と体力の増進を図る。
	5	一万歩ウォーキング教室	不定期	未定	地元の里山を自然に親しみながら一万歩程度（6km程度）を歩き、健康増進と自然や環境について考える。
	6	房州の名山を行く教室	不定期	未定	房州にある名山をのぼり（6km程度）健康増進と自然や環境について考える。
	7	ピラティス教室	第1 水曜日	20人	体幹を鍛え、体の歪みやくせを改善し、健康な体作りをする。
	NO	教室名	開催時期	募 集	内 容
天津小湊公民館	1	初心者フラダンス教室	第1・第3 金曜日	10人	新しいフラ教室。ハワイの風を感じて楽しく踊る。
	2	家でもできる体幹トレーニング教室	第1木曜日	17人	体幹を鍛え健康な身体づくりを目指す。
	3	誰もが元気になる教室	第3木曜日	10人	健康長寿のための生き方について考えながら学ぶ。
	4	初心者スマホ教室	6月及び10月に各3回	13人	シニアを対象にスマホの操作の基礎について学ぶ。
	5	押し花アート教室	第2火曜日	5人	押し花の作り方、またそれを利用した作品づくりを学ぶ。
	6	小学生向け科学教室～DNAについて学ぼう	8/26	7月1日号 広報募集	かずさDNA研究所が、DNAの基礎から最先端の研究を紹介。また、食品からDNAを取り出す実験やマイクロピペット操作などの体験。
	7	ウォーキング教室	5/20・7/15 9/30	20人	歩き方の基本を学び、市内3カ所で実践ウォーク（10km程度）を行う。
	8	家庭教育学級	7/1	天津小湊認定こども園園児と保護者対象	天津小湊認定こども園の園児・保護者を対象に子育てに役立つ講演や体験などを行う。

	NO	教室名	開催時期	募 集	内 容
江見公民館	1	生き生き教室	不定期	未定	社会見学や芸術鑑賞などを通して新たな発見や見聞を広め、人生をより豊かにする。
	2	自然と文化教室	不定期	未定	自然と文化を愛でる活動を通して、潤いのある楽しい生活作りを応援する。
	3	編み物教室	第2金曜日	10人	手編みの基本的な技能を身につけ、手作り作品を完成する。
	NO	教室名	開催時期	募 集	内 容
太海公民館	1	生き生き教室	不定期	未定	社会見学や芸術鑑賞などを通して新たな発見や見聞を広め、人生をより豊かにする。
	2	自然と文化教室	不定期	未定	自然と文化を愛でる活動を通して、潤いのある楽しい生活作りを応援する。
	3	磯釣り教室	6月～12月 日曜日	7人	磯釣りの基礎知識を学び、磯釣りの面白さを体感する。(初心者向け)
	4	スマートフォン教室	7/30・8/6 8/20	10人	スマートフォンの基本操作や簡単なアプリの使い方を体験する。
	5	正月のお飾り作り教室	12月	11月募集	お正月の「お飾りづくり」を体験。
	NO	教室名	開催時期	募 集	内 容
曾呂公民館	1	生き生き教室	不定期	未定	社会見学や芸術鑑賞などを通して新たな発見や見聞を広め、人生をより豊かにする。
	2	健康ヨガ教室	第4木曜日	7人	呼吸法を大切にしながらの動きで、心身をリラックスさせ、楽しみながら健康づくり。
	3	歴史散策教室	不定期	未定	郷土の偉人や歴史などを学習、館外での社会見学を行い、知識や教養を深める。
	4	フラワーアレンジメント教室	第2水曜日	7人	季節に合わせた花をアレンジしたり、ハンドメイド小物製作を体験する。
	5	家庭教育学級	10/12	江見認定こども園の園児と保護者対象	江見認定こども園の園児・保護者を対象に、子育てについての講話と親子のスキンシップを図るため親子でレクリエーションを行う。
	NO	教室名	開催時期	募 集	内 容
主基公民館	1	水引手芸教室	第2金曜日	11人	贈答の場面で使われる水引を身近な物と感じて、季節感を感じられるブローチなどを制作する。
	2	初心者スマホ教室	9/2・9/16 9/30	7月15日号募集	自分のスマホを実際に操作して、スマホ操作の基礎や便利なアプリの使い方について学ぶ。
	NO	教室名	開催時期	募 集	内 容
大山公民館	1	「足から元気！」教室	第2水曜日	6人	靴の正しい履き方・爪の役割・貯筋体操と元気な足を作る教室です。自宅でもできるセルフケアもご紹介。
	2	はじめてのピラティス教室	第4火曜日	10人	体幹筋肉を整えるピラティス。初心者の方・運動が久しぶりな方でも安心して参加できる内容です。
	3	親子で押し花教室	8/22	7月15日号募集	夏休みの工作に。親子で楽しみながら押し花を使って作品づくり。
	4	ハンドメイド・ワークショップ	第4日曜日	11人	白磁に転写シートで絵付けした食器作りとビーズアクセサリーを制作する。
	NO	教室名	開催時期	募 集	内 容
吉尾公民館	1	東洋医学的健康講座	第2火曜日	11人	整体、マッサージ、指圧、健康体操など東洋医学的健康法の基礎知識を学ぶ。
	2	ハーブ活用講座	第2土曜日	7人	身近にあるハーブや薬草の栽培方法やクラフト作りを学んでもらう。
	3	健康寿命は延ばせる～共に考えよう健康法～	第3火曜日	7人	健康寿命を延ばすための食事、運動、心の持ち方などの講義を行う。
	4	家庭教育学級	7/20 12/21	長狭認定こども園の園児と保護者対象	長狭認定こども園の園児・保護者を対象に、子育てに関する講話や体験を実施する。
長狭共催	1	ふれあい絆(いき)・活(いき)教室	不定期	未定	仲間と一緒に、施設の見学や文化財などを巡り、見聞を広める。

令和3年度 社会教育関係事業補助金 交付計画

令和3年度社会教育関係事業補助金について、5団体への交付計画があり、鴨川市補助金等交付規則及び鴨川市社会教育関係事業補助金交付要綱に基づいて審査し、予算の範囲内で適正な補助事業を実施する。

記

1. 補助事業の目的

地域の社会教育活動が活性化し、地域の状況に即応した適切な社会教育サービスを住民に提供するため、社会教育関係団体の積極的な活動を推進・支援することを目的とし、市内における社会教育の振興を推進するため、社会教育関係事業に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。

2. 補助事業の効果

地域の子ども達が各種大会等を通じて交流や親睦を図り、団結力や協調性、責任感を養い健全育成の充実を推進する。また、指導者及び育成者等が相互に連絡提携、協力することで、資質の向上と各地域との連帯感を深め、地域の活性化と青少年育成活動の積極的な推進を図る。

3. 補助団体概要

番号	予算額（円）	団 体 名
1	226,000	鴨 川 市 子 ど も 会 育 成 連 盟
2	63,000	鴨 川 市 公 立 学 校 P T A 連 絡 協 議 会
3	90,000	ボ ー イ ス カ ウ ト 鴨 川 第 5 団
4	558,000	鴨 川 市 青 少 年 相 談 員 連 絡 協 議 会
5	90,000	小 湊 相 撲 協 会
合計	1,027,000	

令和3年度 社会教育関係団体事業補助金 交付計画 【文化振興室】

令和3年度社会教育関係事業補助金について、団体への交付計画があり、鴨川市補助金等交付規則及び鴨川市社会教育関係事業補助金交付要綱に基づいて審査し、予算の範囲内で適正な補助事業を実施する。

記

1. 補助事業の目的

地域の社会教育活動が活性化し、地域の状況に即応した適切な社会教育サービスを住民に提供するため、社会教育関係団体の積極的な活動を推進・支援することを目的とする。市内における文化の振興を推進するため、社会教育関係事業に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。

2. 補助事業の効果

市内の文化芸術の振興を目的とする団体、及び市内の貴重な文化財の保存継承に携わる団体の活動を支援することによって、本市固有の歴史と文化が発展・向上する効果が期待される。

3. 補助団体概要

番号	予算額	団 体 名
1	63,000	鴨 川 市 文 化 協 会
2	32,000	鴨 川 市 郷 土 史 研 究 会
3	166,000	吉保八幡のやぶさめ外 全3団体
4	241,000	(宗) 清 澄 寺 (清 澄 の 大 ス ギ)
合計	502,000	

資料 4

令和 3 年度 鴨川市社会教育委員会議 資料

鴨川市教育行政評価報告書

鴨川市教育委員会 生涯学習課

Ⅱ．生涯学習

【基本目標】市民一人ひとりの学びを支える生涯学習の振興

誰もがいつでも、どこでも学びたいときに学ぶことができ、その学びの成果を適切に生かせる社会が生涯学習の目指す姿です。このため、市民が家庭や地域での子どもの多様な体験学習をはじめ、生活を豊かにする学習活動・読書活動、趣味やスポーツなどに意欲的に取り組める生涯学習環境づくりを進め、自己実現を支援するとともに、地域コミュニティを育てていきます。図書館においては、多様化した市民ニーズに対応した事業展開を図るとともに、その担い手となる人材の育成に努めます。

Ⅱ－１．多彩な学習活動の促進

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 公民館事業の充実 ①市民同士がお互いに尊重し合い、教え合い、学び合う生涯学習活動の充実 (2) 市内に関係施設のある大学との連携 ①大学等との連携による特色ある生涯学習プログラムの充実 (3) 市民が学びやすい環境づくり ①地域学習・ボランティア活動の支援 (4) 青少年海外派遣の推進 ①国際的感覚の豊かな人間育成
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・市民のニーズ、時代に合った公民館主催教室の実施 ・市内に有する大学関連施設と連携した、講演会や各種学習教室などの実施 ・生涯学習事業へのボランティアの活用促進 【実施状況】 ・健康志向の高まりを受け、ハイキングや健康体操等のほか、文化・芸術や趣味をとoshした仲間づくりにつながる公民館教室を実施。 ・大学の持つ知的資産や文化的資産を地域に還元することで、大学の特色を活かした講演会や各種学習教室などを実施。 ・文化施設ボランティアについて研修によりスキルアップを図り、また生涯学習人材バンクについてはリクエストに広く応えられるよう新しい分野の登録者を開拓。 【成果と課題】 ◎市内全 11 館において計 310 回の公民館主催事業を開催、延べ 8,249 人が受講し、受講者が満足する多彩な講座が開催できた。 ◎市内に施設を有する 5 大学と 9 つの事業で連携し計 633 人が参加、アンケートにおいて好評を得られた。 ◎文化施設ボランティアを様々なイベント等に活用できた。また、生涯学習人材バンクについては、新しい分野の登録があった。 ◆公民館利用者の声を聴き、幅広い年齢を対象とした更に魅力のある講座作りに取り組む必要がある。 ◆大学との交流事業が固定化しないよう内容を見極めながら、時代に即した事業を実施していく必要がある。 ◆事業が継続できるよう、ボランティアの募集を引き続き行う。
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・市民のニーズ、時代に合った公民館主催教室の実施。 ・市内に有する大学関連施設と連携した、講演会や各種学習教室などの実施。 ・生涯学習事業へのボランティアの活用促進。

	【実施状況】 ・市内全 11 館において昨年度を上回る計 313 回の公民館主催事業を開催。夜間や土日に開講する講座を増やし、幅広い年齢層の受講者に対応した。 ・大学の持つ知的資産や文化的資産を地域に還元することで、大学の特色を活かした講演会や各種学習教室などを実施。 ・文化施設ボランティアについて研修によりスキルアップを図り、また生涯学習人材バンクについてはリクエストに広く応えられるよう新しい分野の登録者を開拓。 ・青少年海外派遣事業の周知を図り、生徒からの応募増加に向け、市内 3 中学校を始め、安房郡内及び近隣の高校（10 校）を訪問した。 【成果と課題】 ◎公民館主催事業には延べ 7,379 人が受講。終了後の受講者アンケートでは、約 9 割が満足という回答であった。（数字は 2 月末現在） ◎市内に施設を有する 5 大学と 8 つの事業で連携し計 765 人が参加。効果的な P R により、参加者の増につなぐことができた。 ◎文化施設ボランティアを様々なイベント等に活用できた。また、生涯学習人材バンクについては、新しい分野の登録があった。 ◎海外派遣事業の説明会には、近年では多人数となる 17 名の参加が得られ 9 名からの申込後、作文及び口述選考の結果、最終的に 6 名（中学生 4 名・高校生 2 名）を派遣した。 ◎海外派遣事業で派遣された生徒の保護者からは、子供の自立心が芽生えた、考え方が大人になったなど、多くの喜びの声が届けられた。 ◆市民のニーズ、時代に合った公民館利用者増につながる主催事業の実施。 ◆大学との交流事業が固定化しないよう内容を見極めながら、交流事業を増やしていく必要がある。 ◆事業が継続できるよう、ボランティアの募集を引き続き行う。 ◆派遣生徒に実施する研修会に関して、部活動の試合や進路に伴う試験により欠席をする生徒がいたため、学校に対して更なる理解を求める必要がある。
平成 30 年度	《 重点取組 》 ・事業仕分け後に行った利用者アンケートをもとに、より良い公民館運営を目指す。 ・市内に有する大学関連施設と連携した、講演会や各種学習教室などの実施 ・生涯学習事業へのボランティアの活用並びに登録者数を増やしていく。 ・鴨川市国際交流協会と連携した海外派遣事業の推進及び事業の幅広い周知への取組 【実施状況】 ・事業仕分け後のアンケート調査を参考に内容を吟味した。その結果、昨年度を上回る計 358 回の公民館主催事業を開催。夜間や土日に開講する講座を増やし、幅広い年齢層の受講者に対応した。 ・大学の持つ知的資産や文化的資産を地域に還元することで、大学の特色を活かした講演会や各種学習教室などを実施するとともに、地域に即したテーマを設定して開催した。 ・文化施設ボランティアについて研修によりスキルアップを図り、また生涯学習人材バンクについてはリクエストに広く応えられるよう新しい分野の登録者を開拓。 ・国際交流協会に協力する形で、マニトワック市から来鴨した高校生の本市滞在中の各種活動の補助を行うとともに、海外派遣事業の周知や応募者数の増加に向け、市内 3 中学校を始め、市内及び近隣の高校（合計 10 校）を担当者が訪問し事業説明を行った。 【成果と課題】 ◎市民のニーズを把握し、初心者スマートフォン教室等新規事業を開催し、公民館主催事業では延べ 9,630 人が受講した。受講者の一部に実施したアンケートでは、約 9 割が満足という回答であった。 ◎市内に施設を有する 5 大学と 8 つの事業で連携し数年では最高の計 918 人が参加。効果的な P R と参加者のニーズにあったテーマにより、参加者増につながった。 ◎ボランティア登録者を新規イベントに活用できた。また、生涯学習人材バンクについて

	は、新しい分野での登録があった。 ◎海外派遣事業に派遣された生徒は、事前研修においては語学力が向上し、派遣後は更なる語学力の向上が見られ、加えて、派遣者生徒6名の結束が強まるとともに、各生徒の社会性が高まるなど、人間的な成長が感じられた。また、派遣生徒の保護者からは、帰国後は、子供が一回りも二回りも成長し自立心が芽生えたなど、喜びの声が多く届いた。 ◆幅広い年代層が公民館を利用できるような主催事業の実施や環境づくり。 ◆大学との交流事業が固定化しないよう各大学と内容を精査する必要がある。 ◆利用の少ない分野でのボランティア活動を支援する。 ◆海外派遣事業の周知は前年度末から開始するが、参加申込及び選考試験(作文及び面接)は新年度に入ってから実施するなど、事業展開が年度跨ぎとなるため、派遣希望者のうち、新高校1年生においては生徒も学校も混乱するとともに、事務担当者も異動等により変更する可能性があることなどから、事務等における遺漏がないよう細心の注意を払う必要がある。
令和元年度	《 重点取組 》 ・市民のニーズ、時代に合った公民館主催教室の実施 ・事業仕分け後に行った利用者アンケートを基に、市内に有する大学関連施設と連携し、より充実した講演会や各種学習教室などの実施 ・生涯学習事業へのボランティアの活用及びに登録者数を増やしていく。 ・海外派遣事業の効果的な実施と年度跨ぎで事務手続きに支障を来さないための計画立案 【実施状況】 ・夜間や土日に開講する講座を増やし、幅広い年齢層の受講者に対応した。 ・大学の持つ知的資産や文化的資産を地域に還元することで、大学の特色を活かした講演会や各種学習教室などを実施した。 ・文化施設ボランティアについて研修によりスキルアップを図り、また生涯学習人材バンクについてはリクエストに広く応えられるよう新しい分野の登録者を開拓した。 ・当該年度から次年度に向けた計画的な事務スケジュールを立て、年度跨ぎで学校が変わる中学3年生に対する周知に遺漏がないよう、市内3中学校を始め、市内2校及び近隣8校の高校を担当者が訪問し、事業説明及び事業スケジュール等の説明を行った。 【成果と課題】 ◎市民のニーズを把握し、老後の人生設計教室等様々な新規事業を開催し、公民館主催事業では延べ6,884人が受講した。受講者の一部に実施したアンケートでは、約9割が満足という回答であった。 ◎市内に施設を有する5大学と7つの事業で連携し計564人が参加。効果的なPRと参加者のニーズにあったテーマにより、参加者増につながった。 ◎ボランティア登録者を新規イベントに活用できた。また、生涯学習人材バンクについては、新しい分野での登録があった。 ◎海外派遣事業参加者の中には、当初、コミュニケーションが苦手と思わしき生徒も数多く見受けられたが、対面式の手法を盛り込んだ事前研修の受講やマニトワック市からの派遣学生との数多くの交流を経て、派遣者6名の結束が強まった。加えて、マニトワック市でのホームステイ型の生活において、英語によるコミュニケーションの楽しさを感じ、英語への学習意欲が高まるとともに、社会性・協調性において個々の目覚ましい成長を感じることができた。 ◆幅広い年代層が公民館を利用できるような新規の主催事業の実施や環境づくり ◆大学との交流事業が固定化しないよう各大学と内容を精査する必要がある。 ◆利用の少ない分野でのボランティア活動を支援する。 ◆両市の派遣者数の不一致などを理由として、受け入れていない家庭の疎外感や必要な情報が共有されないなどの課題が散見されたため、派遣者数を同数に調整する必要がある。加えて、担当職員・親・派遣者間の連絡体制を改めて構築する必要がある。

令和2年度

《 重点取組 》

- ・市民のニーズ、時代に合った各公民館での特色ある主催教室の実施
- ・市内に所在する大学関連施設と連携し、内容について精査・検討をし、新しい分野で充実した講演会や各種学習教室などの実施
- ・生涯学習事業へのボランティアの活用並びに登録者数を増やしていく。
- ・令和2年度の海外派遣事業は休止
※東京オリンピック・パラリンピックにより、航空券の手配が困難になることが予測されるうえ、マニトワック市から学生が派遣されないため。

【実施状況】

- ・コロナ禍で一時的に利用中止の期間もあったが、感染対策を徹底したうえで、市民の教養・健康増進のための公民館教室を行った。
- ・大学交流事業については、コロナ禍で、関係者と協議し、出来る範囲で講演会や各種学習教室などを実施し2つの行事を実施できた。
- ・文化施設ボランティアについては研修によりスキルアップを図り、生涯学習人材バンクについてはリクエストに広く応えられるよう新しい分野の登録者を開拓した。
- ・海外派遣事業は休止した。(東京オリンピック・パラリンピック開催が予定されていたことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、マニトワック市との相互派遣が困難なため。)

【成果と課題】

- ◎コロナ禍による利用制限下という恵まれない環境であったが、限られた期間を活かし多彩な公民館主催教室を企画・開講した。なお、令和2年度主催事業参加者は延べ2,342人と例年の3割強まで落ち込んだ。
- ◎大学交流事業については、ネット配信等今までにない方法で実施することができ、新たな発見があった。
- ◎生涯学習人材バンクについては、2件新しい分野での登録があった。
- ◆コロナ禍で、来年度も厳しい状況は続くものと思われるが、引き続き市民のニーズに対応した公民館講座を展開し、利用者増につなげる必要がある。
- ◆コロナ禍で、大学との交流事業が安全かつ円滑に遂行できるよう、各大学と内容を精査し、オンラインを有効活用する等、今までとは異なる行事も再考する必要がある。
- ◆利用の少ない分野でのボランティア活動を支援するとともに活用についても周知が必要である。

【 5年間を総括した成果と課題 】

- ◎市民のニーズを把握し、幅広い年齢層を対象にした多彩な公民館主催事業を実施できた。
- ◎市内に所在する大学関連施設と連携し、市民のニーズに合った講演会や各種学習教室などを実施できた。
- ◎利用の少ない分野でのボランティア活動を支援し、生涯学習事業へのボランティアの活用促進が実施できた。
- ◎海外派遣事業を通じて、派遣生徒の自立心、協調性の向上が見られたほか、英語への学習意欲が高まるなど、グローバル社会における必要不可欠な要素について目覚ましい成長を感じることができた。
- ◆公民館主催教室の受講生は各館ともまだまだ女性高齢者が多い。男性や幅広い年齢層を対象とした内容についてさらなる見直しが課題となる。
- ◆各大学と協議し、過去にこだわらない行事のあり方・方法を検討することで、大学の持つ知的資産や文化的資産を地域に還元し、特色を活かした講演会や各種学習教室を実施することが課題となる。
- ◆生涯学習事業へのボランティアの活用並びに登録者数を増やしていき、学校の授業も含め、市民にこの事業を広く周知することが課題となる。
- ◆海外派遣事業については、募集対象、派遣者数及び派遣生徒に対する研修機会の在り方の検討をはじめ、適切な情報共有に資するため、派遣生徒・保護者・担当職員間の連絡体制を改めて構築する必要がある。

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	- 概ね原案のとおり評価する。 - 公民館の若年層の利用について、延べ人数が増えていることは、喜ばしいことである。 - 生涯学習人材バンクボランティア制度の周知・啓発に努めて欲しい。
平成 29 年度	- 原案のとおり評価する。 - 公民館の若年層の利用について、28 年度よりさらに延べ人数が増えていることは喜ばしい。 - 情報についてはホームページ等で、広報活動を努めて欲しい。
平成 30 年度	- 原案のとおり評価する。 - 幅広い年齢層の市民が公民館を利用できるよう、より一層努めて欲しい。
令和元年度	- 原案のとおり評価する。 - 幅広い年齢層の市民が自由に公民館を利用できるよう、努めて欲しい。
令和 2 年度	- 原案のとおり評価する。 - 幅広い年齢層の市民が自由に公民館を利用できるよう、努めて欲しい。
5 年 間 を 総 括 し た 成 果 と 課 題	原案のとおり評価する。

Ⅱ－２．社会教育関連施設の充実

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 社会教育関連施設の整備 ①施設の計画的な改修と更新
平成 28 年度	《 重点取組 》 - 公民館の耐震診断、及び耐震補強工事の継続実施 【実施状況】 - 吉尾公民館の耐震診断の実施 【成果と課題】 ◎耐震診断実施済公民館：5 館 (H24 中央、H25 天津小湊、H26 東条、H27 主基、H28 吉尾) 耐震補強工事実施公民館：中央 (H27) ◆一部耐震基準を満たしていない主基、吉尾の耐震補強工事の検討
平成 29 年度	《 重点取組 》 - 公民館の耐震診断、及び耐震補強工事の継続実施 - 老朽化した公民館の施設設備の修繕 【実施状況】 - 太海公民館の耐震診断、主基公民館耐震補強設計の実施 - 中央公民館屋上防水改修、主基公民館講堂床改修、空調機更新工事等の実施 【成果と課題】 ◎耐震診断実施済公民館：6 館 (H24 中央、H25 天津小湊、H26 東条、H27 主基、H28 吉尾、H29 太海) 耐震補強工事実施公民館：中央 (H27) ◎緊急性を考え、優先順位をつけ実施した。 ◆一部耐震基準を満たしていない吉尾、太海の耐震補強工事の検討 ◆東条公民館屋上防水改修工事の検討
平成 30 年度	《 重点取組 》 公民館の耐震診断、及び耐震補強工事の継続実施

	・老朽化した公民館の施設設備の修繕 ・社会教育関連施設のAED設置の推進 【実施状況】 ・田原公民館の耐震診断、吉尾公民館耐震補強設計、主基公民館耐震補強工事の実施 ・東条公民館屋上等防水改修工事実施 ・AED設置施設の調査を実施 【成果と課題】 ◎耐震診断実施済公民館：7館 (H24 中央、H25 天津小湊、H26 東条、H27 主基、H28 吉尾、H29 太海、H30 田原) 耐震補強工事実施公民館：中央(H27) 主基(H30) ◎緊急性を考え、優先順位をつけ実施した。 ◎AED設置施設の把握 ◆一部耐震基準を満たしていない吉尾、太海、田原公民館の耐震補強工事の検討 ◆公民館の空調機更新工事等の実施・公民館の消防設備の充実
令和元年度	《重点取組》 ・公民館の耐震診断の継続実施 ・老朽化した公民館の施設設備の修繕 ・公民館の消防設備修繕 【実施状況】 ・曾呂公民館の耐震診断の実施 ・江見公民館、東条公民館の空調改修工事実施 ・市内公民館の老朽化した消防設備の修繕を実施 【成果と課題】 ◎耐震診断実施済公民館：8館 必要である全公民館実施済み (H24 中央、H25 天津小湊、H26 東条、H27 主基、H28 吉尾、H29 太海、H30 田原 R01 曾呂) 耐震補強工事実施公民館：中央(H27) 主基(H30) ◎緊急性を考え、優先順位をつけ実施した。 ◎老朽化した消防設備の修繕を実施 ◆一部耐震基準を満たしていない吉尾、太海、田原公民館の耐震補強工事の検討 ◆公民館の空調機更新工事等の実施 ◆点検を日常化する。
令和2年度	《重点取組》 ・公民館数等の適正化に向けた検討 ・老朽化した公民館の施設設備の修繕 【実施状況】 ・社会教育委員会議で公民館数の適正化も含めて協議した。 ・市内公民館の老朽化した設備の修繕を実施 【成果と課題】 ◎利用者の安全と緊急性を考え、優先順位をつけ実施した。 ◆公民館の空調機更新工事等の実施 ◆安全・安心な利用のため点検を日常化する。
【5年間を総括した成果と課題】 ◎4館の耐震診断を実施し、必要である全ての公民館の耐震診断を終えた。 ◆耐震診断の結果を踏まえ公民館全体のあり方について検討	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・ 原案のとおり評価する。
平成 29 年度	・ 原案のとおり評価する。 ・ 今後とも、必要に応じて施設の改修等を実施して欲しい。
平成 30 年度	・ 原案のとおり評価する。 ・ 利用者の安全を優先して、より一層、施設の充実に努めて欲しい。
令和元年度	・ 原案のとおり評価する。 ・ 利用者が快適に活動できるように、空調を含めた施設の充実に努めて欲しい。
令和 2 年度	・ 原案のとおり評価する。 ・ 利用者が快適に活動できるように、空調を含めた施設の充実に努めて欲しい。
5 年 間 を 総 括 し た 成 果 と 課 題	・ 原案のとおり評価する。

Ⅱ－３．読書・学習環境の充実

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 図書資料の整備・充実 ①親しみやすい図書館環境づくり ②資料の充実 (2) 図書館施設の整備 ①施設・設備の改修 ②公民館図書館分室の機能強化 (3) 子どもの読書活動や習慣づけの推進 ①子どもの読書活動の推進 ②読書習慣づくりの推進 ③学校教育と図書館の連携による読書活動の推進 (4) 生涯型読書活動の推進 ①鴨川市生涯読書推進計画に基づく読書活動の推進
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・ 親しみやすく、見やすい書架への工夫と改善 ・ 小学校図書室への図書配本事業の実施 ・ 大活字本や朗読 CD の充実 【実施状況】 ・ 季節に合わせたテーマによる図書を展示ケースにて紹介する工夫と、著者名の表示を増やし見やすい書架への改善に努めた。 ・ 小湊小へ 100 冊、東条小へ 200 冊「図書館からおすすめの本」を配本すると共に、図書館職員による読み聞かせやブックトーク、図書室整備のアドバイス等を実施 ・ 大活字本や朗読 CD を購入し、紹介するコーナーを設置。また、公民館図書館分室で大活字本のリストを掲示し周知に努めた。 【成果と課題】 ◎親しみやすく、見やすい書架の工夫・改善をした結果、図書の貸出が昨年度より約 1000 冊増加した。 ◎配本を実施した小学校で、本を読む児童が増加した。 ◎様々なジャンルの大活字本を多く収集した事により、幅広い世代の方に利用されるようになった。 ◆配架の工夫、展示スペースの確保 ◆小学校への図書配本や読書活動支援ため、図書館職員のスキルアップが必要 ◆大活字本が高額である。また、配架する書架スペースが必要

平成 29 年度	《 重点取組 》 ・ 図書館空調設備更新工事の実施 ・ 小学校への図書配本事業の拡大 ・ 市内各公民館での予約本受取サービスの検討 ・ 読み聞かせ等の子どもの読書活動の推進 【実施状況】 ・ 空調設備更新工事を実施 ・ 長狭小学校へ 150 冊、江見小学校へ 150 冊「図書館からのおすすめ本」を配本するとともに、図書館職員による読み聞かせやブックトーク、図書室整備のアドバイス等を実施 ・ 平成 29 年 7 月 1 日から市内各公民館で予約本受取サービスを実施 ・ 乳幼児や児童を対象とした読み聞かせ行事を実施 【成果と課題】 ◎空調設備を更新し適切な空調管理が出来るようになり、利用者の利便性が向上した。 ◎配本事業を 2 校追加し、4 校で配本図書を利用できるようになり、本を読む児童が増加した。 ◎公民館 5 館（中央、西条、大山、太海、江見）にて 9 名が予約本受取サービスを利用し、延べ 32 回で 42 冊の貸出を行った。【平成 30 年 2 月末現在】 ◎読み聞かせ行事を年間で 18 回開催し、参加した延べ 442 名の子どもに絵本や紙芝居の読み聞かせを行った。【平成 30 年 2 月末現在】 ◆市内の全小学校に配本事業を実施するため、残り 4 校について事業費の確保に努めていく必要がある。 ◆更なる予約本受取サービス利用者の拡大を図るため、事業について周知をすすめていく。 ◆小学校低学年から読み聞かせ会への参加が減少しているため、呼びかけや内容の工夫により参加者の増加を図っていく。
平成 30 年度	《 重点取組 》 ・ 利用者ニーズや利用実態に対応した開館時間を再検討するため、調査を目的とした開館時間延長の試行実施 ・ 小学校への図書配本事業の拡大 ・ 第 2 次生涯読書推進計画の策定準備 ・ 多様なニーズに対応するため、新たな講座の実施 【実施状況】 ・ 6 月と 10 月に開館時間の延長試行を実施。利用者統計の結果と、利用者からの時間延長を求める声を踏まえ、図書館協議会で開館時間の変更を提案したところ、全委員の賛同を得られた。 ・ 「図書館からおすすめの図書」を、鴨川小学校へ 200 冊、田原小学校へ 100 冊配本した。 ・ 第 2 次生涯読書推進計画については延期とした。 ・ 小学校に英語教育や英語活動が取り入れられた事に繋げるため、子ども向けに「えいごのおはなし会」を年 2 回実施。また、日本文化や芸能に親しむ機会を提供するため、成人向けに「俳句入門講座」を年 2 回実施した。 【成果と課題】 ◎市民ニーズに合った開館時間とするため、火～金は午前 9 時 30 分から午後 6 時 30 分、土・日・祝日は午前 9 時 30 分から午後 5 時 30 分までと、図書館管理規則の改正を行った。 ◎今年度で市内 6 校への配本が開始できた。学校図書室担当より「図書館からのおすすめ図書」を楽しみにし、本を読む児童が増加したとの報告があった。 ◎「えいごのおはなし会」8 月は 52 名、12 月は 53 名の参加。「俳句入門講座」6 月は 29 名、1 月は 31 名の参加があった。 ◆火曜から金曜は開館時間を 1 時間延長することから、光熱水費と臨時職員の賃金につい

	てかかる経費の確保に努める必要がある。 ◆市内の全小学校に配本事業を実施するため、残り2校についての事業費確保に努める必要がある。 ◆第2次生涯読書推進計画について、小・中学校の教科書採択との関係から、平成32年度以降に作成していく。 ◆行事がマンネリ化しないように内容の充実を図ると共に、行事の周知に努め参加者の増加を目指していく。
令和元年度	《 重点取組 》 ・バランスの良い蔵書の充実を図る。 ・小学校への図書配本事業の拡大 ・「意見箱」などの設置により、市民ニーズに対応していく。 ・ホームページの更新 【実施状況】 ・古くなった資料の除籍や改訂版の購入、また、蔵書が少ない分野や利用の多い分野の資料を計画的に購入した。 ・今年度西条小、天津小湊小への配本を実施し、全小・中学校への配本を開始した。 ・図書館利用への意見を基に館内巡回を強化し環境改善を図った。 ・次年度以降、市のホームページを更新する際の図書館ホームページについて協議した。 【成果と課題】 ◎出版案内や利用者からのリクエストを基に図書を購入し、蔵書の充実を図った。 ◎全小中学校への図書配本を開始し、児童・生徒の読書活動の充実を図った。 ◎学習スペースやトイレ等の利用に関する意見を基に、館内巡回の強化や環境改善を図った。 ◆引き続き中長期的な購入計画を進め、蔵書の充実を図っていく。 ◆図書配本事業の充実のための予算を確保していく。 ◆市民からの意見に耳を傾け、更なる運営改善に努める。 ◆市ホームページ更新を実施する際、図書館ホームページをスムーズに更新作業ができるよう、県内の図書館ホームページの状況を確認しながら準備を進める。
令和2年度	《 重点取組 》 ・郷土資料の整備 ・障害者用駐車場の整備 ・小中学校への図書配本事業の充実 ・30周年記念事業の実施 【実施状況】 ・県内市町村の報告書や文化財等の資料を合冊、除籍し整備を図った。 ・障害者用駐車場の整備を実施した。 ・小中学校へおすすめの図書を購入し充実に努めた。 ・図書館開館30周年記念事業を実施した。 【成果と課題】 ◎郷土資料の合冊や除籍をする事で、書架が見やすくなり、スペースの確保もできた。 ◎消えかかった白線を引き直し、一般車両用の幅しか無かった障害者用駐車スペースを現在の基準にあった駐車スペースとすることができた。 ◎おすすめの図書を購入し配本する事で、児童生徒にとって魅力的な本の提供ができた。 ◎記念事業として、「絵本作家講演会」の実施や「記念バッグのプレゼント」などを実施し、新規の利用者が増加した。 ◆郷土資料室の空いたスペースの活用を計画的に進める。 ◆小中学校への配本図書を購入するため、継続的な予算の確保が必要。

【 5年間を総括した成果と課題 】

◎親しみやすい図書館環境づくりのため、図書資料の充実や行事の開催、空調設備の修繕や駐車場の整備などを実施してきた。また、公民館図書館分室の設置や運営、公民館を通した返却本の預かりや予約本の受取りサービスなど、図書館から遠隔地域に住む市民に向けてのサービス向上に努めてきた。その結果、登録者数も貸出冊数も年々増加している。

◆コロナ禍における市民の生活スタイルが一変した事により、来館しなくても図書利用ができる新たな形を検討していくことが課題である。

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・ 原案のとおり評価する。 ・ 小学校への配本について、配慮していただき有り難い。 ・ 小中学校の授業テーマに関連する図書をクラス分、他の図書館から手配するサービスを今後お願いしたい。 ・ 児童の保護者による読書ボランティアが増えているため、読み聞かせに好評な大型絵本について、引き続き貸し出しを行って欲しい。 ・ 図書館（分室を除く）での図書の貸し出し数が、年間約 1,000 冊も増えていることはすばらしい。
平成 29 年度	・ 原案のとおり評価する。 ・ 小学校への配本について、配慮していただき有り難い。 ・ 小中学校の授業テーマに関連する図書をクラス分、他の図書館から手配するサービスを今後お願いしたい。
平成 30 年度	・ 原案のとおり評価する。 ・ 利用者のニーズに対応した開館時間の変更については、高く評価したい。 ・ 小中学校への図書の配本事業については、より一層進めてほしい。
令和元年度	・ 原案のとおり評価する。 ・ 公民館にある図書分室の存在をより一層市民に広めるよう努めて欲しい。
令和 2 年度	・ 原案のとおり評価する。 ・ 公民館にある図書分室の存在をより一層市民に広めるよう努めて欲しい。
5 年 間 を 総 括 し た 成 果 と 課 題	・ 原案のとおり評価する。

Ⅲ. 青少年の健全育成

【基本目標】子どもたちの自立を支援する体制整備

次代を担う青少年が、自らの能力や個性を十分に発揮して自立するとともに、地域の担い手として活躍できるように、学校、家庭、地域、関係機関等が連携しながら、子どもたちの自立を支援する仕組みづくりを推進します。あわせて青少年がさまざまな体験・交流活動、社会活動等に参加する機会を拡充するとともに、地域活動の活発化や指導者の育成に努めます。

Ⅲ-1. 啓発活動の推進

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 青少年の健全育成に関する啓発の推進 ①体制の整備 ②学校・家庭・地域への啓発
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・保護者、地域住民、青少年指導者等と連携した啓発の推進。 【実施状況】 ・青少年指導者研修会（11月）を開催し、『インターネットトラブルの現状と対策』に関する講演会を実施 ・青少年健全育成推進大会（11月）を開催し、小中高生による青少年健全育成に関する標語等を発表 【成果と課題】 ◎青少年指導者研修会では千葉県警情報セキュリティアドバイザーによる講演会を実施し、現代の大きな問題であるインターネットトラブルについての周知を図った。 ◎青少年健全育成推進大会では、小中高生等から青少年健全育成に関する標語及び作文を募集（応募数：標語 813 作品、作文 377 作品）することにより、青少年問題に対する関心を高めることができた。 ◆講師謝礼に伴う予算（平成 28 年度 30,000 円）に限りがあるため、講師選定作業が困難である。 ◆各団体に属していない市民の参加者が少ないため、幅広い啓発活動に繋がらない。
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・保護者、地域住民、青少年指導者等と連携した啓発の継続 【実施状況】 ・青少年健全育成推進大会を開催し、小中高生から応募のあった青少年健全育成作文及び標語の表彰を実施 ・青少年指導者研修会を開催し、『子どもの心に寄り添う柔軟な関わり方』を演題に講演会を実施 ・青少年健全育成推進大会で表彰された青少年健全育成作文及び標語を市民ギャラリー及び図書館に掲示 【成果と課題】 ◎青少年健全育成推進大会及び青少年指導者研修会では、小中高生は標語等の作成を通じて、いじめ問題等への意識高揚が図られ、保護者からはアンケートの結果、大変参考になったとの声が多く寄せられた。 ◎青少年健全育成推進大会で表彰された作文及び標語を図書館等に掲示したことにより、多くの市民に大会の意義や主旨が伝わった。 ◆青少年健全育成推進大会から青少年指導者研修会へ移行する際の聴講人数の減少 ◆小中学生及び高校生からの青少年健全育成作文及び標語の応募数の減少
平成 30 年度	《 重点取組 》 ・青少年指導者研修会の参加者数増加に向けた取組（関係団体への一層の周知、開催形式の見直し） ・青少年健全育成作文及び標語の応募数増加に向けた取組（各小中学校への訪問） ・青少年健全育成推進大会での優秀作品（作文・標語）の幅広い周知に向けた取組（学

	校掲示や報道発表) 【実施状況】 ・「くらべない子育て じぶん育て」と銘打った研修内容に鑑み、昨年度までの案内の範囲に加え、新たに、保育園、認定こども園及び学童クラブへの周知を実施 ・青少年健全育成作文及び標語の応募数増加に向け、公立小中学校を中心に応募の方法をご一考いただけるよう個別に依頼を実施 ・青少年健全育成推進大会で表彰された青少年健全育成作文及び標語を公共施設のほか、新たに、イオン鴨川店1階通路に掲示するとともに、受賞作品を簡易文集化し、応募のあった市内小中学校及び高等学校の図書室等へ配架を依頼 【成果と課題】 ◎新たに周知した団体からの参加者を含め、研修会を通じて多くの方へ子育てのヒントを伝達できた。 ◎新たに実施したイオン鴨川店への受賞作品の掲示によって、これまで以上に多くの市民に対して、青少年健全育成に関する意識高揚を図ることができた。 ◆青少年指導者研修会の開催形式の見直し ◆市内小中学校及び高等学校は、他の団体や組織からも多くの作文等の募集依頼があるため、青少年健全育成作文及び標語の応募数の減少
令和元年度	《重点取組》 ・青少年指導者研修会の参加者数増加に向けた取組（開催形式の見直し等） ・青少年健全育成作文及び標語の応募数増加に向けた取組（募集対象の拡充等） 【実施状況】 ・青少年育成指導者研修会の参加者募集に関して、昨年度までの案内の範囲に加え、新たに市内各土曜スクール（放課後子供教室）への周知を実施するとともに、青少年健全育成推進大会から青少年指導者研修会に移行する際、休憩時間を省略するなど、開催形式の一部を変更 ・青少年健全育成作文及び標語の応募数増加に向けた市内各小中学校への個別依頼を実施し、同大会で表彰された青少年健全育成作文及び標語をイオン鴨川店1階通路に掲示 【成果と課題】 ◎新たに周知した団体からの参加者もあり、研修会を通じて青少年の健全育成の意識の高揚が図られたことに加え、休憩時間を省略することにより、途中退席者を減らせた。 ◆限られた予算での講師の選定
令和2年度	《重点取組》 ・学校、家庭、地域、青少年育成団体とが連携した青少年健全育成活動及び啓発の一層の推進 ・青少年健全育成推進大会及び青少年指導者研修会の継続 【実施状況】 ・新型コロナウイルス拡大防止のため、青少年健全育成推進大会の表彰式は中止となったが、小中高生から作文及び標語を募集し、優良作品の選出を行った。作品については市内ショッピングセンターで掲示を行った。 ・青少年指導者研修会は、感染症対策の第一人者である講師を招き、規模を縮小して開催した。 【成果と課題】 ◎新型コロナウイルス拡大防止のため、規模は縮小したが、青少年指導者研修会は感染対策の第一人者である講師の貴重な講演を聴講することが出来た。 ◎小中高生の作文及び標語は、市内ショッピングセンターで掲示を行い、作品を広く周知した。 ◆研修会参加に多くの参加者を募っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの参加者を募ることができないため、今後は会場や運営方法を検討

	する必要がある。
【 5年間を総括した成果と課題 】	
◎青少年健全育成推進大会では、小中高生の作文及び標語の募集を継続して行い表彰式を開催した。その後、作品を市内ショッピングセンターで掲示するなど、作品の周知をすることができた。 ◎青少年指導者研修会では、新たな団体の参加や幅広い周知を行い参加者の増加につながった。また、研修内容は青少年をめぐる問題・課題などをテーマに講演し、多くの指導者に伝えた。 ◆青少年健全育成推進大会では、今般のコロナ禍における中で多くの参加者を募集することができないなどの問題点があり、今後どのように運営していくか検討する。 ◆青少年健全育成推進大会にふさわしい講師の選定。	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・原案のとおり評価する。 ・青少年指導者研修会開催については、今後も広報及び各種団体等に積極的に周知し、参加者を増やして欲しい。
平成 29 年度	・原案のとおり評価する。 ・研修会については、内容も含め主催者と参加者のニーズをお互い共有して欲しい。
平成 30 年度	・原案のとおり評価する。
令和元年度	・原案のとおり評価する。
令和 2 年度	・原案のとおり評価する。
5 年 間 を 総 括 し た 成 果 と 課 題	・原案のとおり評価する。

Ⅲ－２．青少年育成団体の活動の活性化及び地域との連携強化

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 青少年育成団体の活動の活性化 ①青少年育成団体活動の充実 ②多様な体験活動を通じた青少年健全育成 (2) 青少年育成団体と地域の連携強化 ①青少年相談員活動の充実 ②非行防止活動の推進
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・放課後子ども教室（土曜スクール）の推進 ・非行防止活動の推進 【実施状況】 ・土曜スクール（6 スクール）の推進及び未実施小学校区の開校に向けた体制づくり ・青少年育成鴨川市民会議と鴨川警察署が連携した非行防止パトロールの実施 【成果と課題】 ◎土曜スクール開催実績（各スクール年間 22 回開催。6 スクール合計 延べ 1,918 名の児童が参加） ◎未実施小学校区のうち東条小学校区において開校に向けて動き始めた。 ◎非行防止パトロールを年間 7 回行い、非行抑止効果を高めることができた。 ◆鴨川小学校区における土曜スクール開校に向けた取組 ◆運営基盤が弱体化傾向にある土曜スクールに対する更なる助成 ◆効果的なパトロール方法の検討

平成 29 年度	《 重点取組 》 ・鴨川小学校区における土曜スクール開校に向けた取組 ・効果的なパトロール方法の検討 【実施状況】 ・未実施小学校区であった東条小学校区での土曜スクールの開校 ・各土曜スクール（7 スクール）への支援（各スクール年間 22 回開催。合計 176 名の児童が活動） ・青少年育成鴨川市民会議と鴨川警察署が連携した非行防止パトロールの実施（年間 7 回） 【成果と課題】 ◎各土曜スクールでの活動の他、土曜スクール合同事業を年 4 回実施したことにより、異学年交流やスクールスタッフとの交流が深まるとともに、他校児童との仲間作りが図られた。 ◎非行防止パトロールでは、警察、学校、関係団体と行政が連携しながら、市民が一体となった非行防止活動の啓発が図られ、パトロールを通じたまちづくりができた。 ◆鴨川小学校区における土曜スクールの開校に向けた取組。【未実施小学校区であった、鴨川小学校区及び東条小学校区のうち、東条小学校区での開校を先行することとなったため、具体的な取組に至らなかった】
平成 30 年度	《 重点取組 》 ・鴨川小学校区における土曜スクール開校（平成 31 年度）に向けた取組 ・第 20 期千葉県青少年相談員の委嘱替えに向けた事務的な支援 ・千葉県青少年健全育成条例に基づく立入調査事務の権限移譲に向けた調査・研究（有害図書・カラオケボックス・ゲームセンターへの立ち入り調査） 【実施状況】 ・（仮称）鴨川小土曜スクールの運営母体を立ち上げるため、関係諸団体等を対象とした説明会を 3 回実施 ・第 20 期千葉県青少年相談員の委嘱事務に伴い、県からの依頼事項をスムーズに各地区へ伝達するとともに、所定の様式作成などの事務的な支援及び後任探しに対する助言。 ・千葉県青少年育成条例主管課である千葉県環境生活部県民生活・文化課に、県内の権限移譲の状況及び移譲を受けた市町の実情に関する聞き取りを行い、本市が移譲を受けた場合のメリット・デメリットを協議 【成果と課題】 ◎鴨川小学校区内には（仮称）鴨川小土曜スクールの運営母体となり得る既存の地域集合体が存在しない中、説明会を通じて、スクール開校に向けた小学校区内の合意形成及び運営スタッフ候補者の選任ができた。 ◎県内他市町が第 20 期青少年相談員の人選や後任探しに苦慮する中、本市においては各地区の実情に即し、地区委嘱人数を再考しながら後任探しも難航せず、新任青少年相談員 62 名の選出ができた。 ◎千葉県青少年育成条例に関する権限移譲については、平成 28 年度以降、県も説明会や意向調査を実施していないこと、移譲先自治体では要綱等の策定が必要であること、また、本市の店舗数や年間を通じて実施している非行防止パトロールの効果等を鑑み、本市が権限移譲を受けるメリットは少ないと判断できた。 ◆（仮称）鴨川小土曜スクールの開校に向けた各種協議及び調整 ◆第 19 期青少年相談員から第 20 期青少年相談員へのスムーズな活動移行
令和元年度	《 重点取組 》 ・（仮称）鴨川小土曜スクールの年度内開校及び各土曜スクールの組織強化（地域との結び付きの強化等） ・活動初年度となる第 20 期青少年相談員の組織強化及び青少年相談員同士の連携強化 ・青少年育成鴨川市民会議及び関係団体を中心とした非行防止パトロールの更なる充

	実 【実施状況】 ・令和元年9月28日に「鴨小スマイルスクール」(鴨川小学校区土曜スクール)を開校 ・千葉県が主催する「青少年相談員基本研修会」に参加し、青少年相談員としての心得や意義等を学ぶ。 ・鴨川警察署、青少年育成鴨川市民会議、ひまわり隊等と連携した非行防止パトロールを年間5回実施 【成果と課題】 ◎市内全小学校区に「土曜スクール」が開設され、各スクールにおいては、スタッフ、地域、保護者間での連携が図られ、複数のスクールでの活動もあるなど、「土曜スクール」としての組織強化が図られた。 ◎「青少年相談員基本研修会」受講後は、各青少年相談員が自覚を持って活動できるようになり、市青少年相談員連絡協議会理事会でも、各地区の課題等の情報交換をするなど、連携が図られた。 ◎警察、学校、ひまわり隊と行政が連携を図りながら実施した非行防止パトロールでは、官民が一体となり、非行防止の啓発が図られるとともに、パトロールを通じたまちづくりができた。 ◆市内全ての「土曜スクール」におけるスタッフ不足及び後継者不足によるスクール活動弱体化への懸念 ◆非行防止パトロールに多くの関係者が参加できるような連絡体制の検討
令和2年度	《重点取組》 ・市内各土曜スクールと連携を図りながら問題点を適宜把握するとともに、スタッフ不足に対する人材の情報提供を実施 ・非行防止パトロールの連絡体制の整備と青少年の活動の多様化に伴うパトロールコースの見直し 【実施状況】 ・市内各土曜スクールの抱える課題を把握するため、合同会議での意見交換をはじめ、事業担当者の積極的な活動参画を行った。また、スタッフ不足に関しては、知り得る範囲での人材の紹介に加え、地域学校協働本部の設置に向けた諸調整を進めた。 ・鴨川警察署、青少年育成鴨川市民会議、ひまわり隊等と連携した非行防パトロールを年間3回実施 【成果と課題】 ◎土曜スクール合同会議における意見交換を通じての先進事例の紹介をはじめ、事業担当者の活動参画により各スクールそれぞれの課題の把握、解決を図ることができた。スタッフ不足に関しても、困窮していたスクールについては概ね解消された。 ◎本年度のパトロールはコロナ禍のため、花火大会、合同祭及び歩行者天国が中止となったが3回実施することができた。 ◆土曜スクールに関しては、多様な体験の提供はもとより、地域住民、異なる学年、異なる学校の児童との交流を活動の主眼としてきた経緯があるため、昨今のコロナ禍における新たな活動の在り方の検討が重要な課題となる。 ◆青少年相談員連絡協議会が実施していた10回程の夏期パトロールも中止したが今後、コロナ禍の中で実施する方法の検討。
	【5年間を総括した成果と課題】 ◎土曜スクールに関しては、平成23年度から令和元年度までの9年間で、市内すべての小学校区における開設が完了した。各スクールにおいては、スタッフ、地域、保護者間での連携が図られ、複数のスクールでの合同活動も展開されるなど、組織としての強化が進んでいる。 ◎3年毎の次期青少年相談員の委嘱替えに向けた事務的な支援を行うことができた。 ◎青少年育成鴨川市民会議・子ども会育成連盟・青少年相談員連絡協議会の事業に相互に参加し、

団体間の連携を進めた。

◎防犯パトロールを実施し青少年の非行防止及び地域の防犯意識を高めた

◆土曜スクールに関しては、多様な体験の提供はもとより、地域住民、異なる学年、異なる学校の児童との交流を活動の主眼としてきた経緯があり、昨今のコロナ禍における適切な活動の在り方の検討が重要な課題となる。

◆令和2年度はコロナ渦から中止となった多くの事業があるが、今後の事業については実施方法・内容を検討する。

■ 外部評価 ■

平成28年度	・原案のとおり評価する。
平成29年度	・原案のとおり評価する。
平成30年度	・原案のとおり評価する。 ・保安パトロールについて特に評価する。
令和元年度	・原案のとおり評価する。 ・保安パトロールについて評価する。 ・関係団体との連携の強化に、より一層努めて欲しい。
令和2年度	・原案のとおり評価する。 ・保安パトロールについて評価する。 ・関係団体との連携の強化に、より一層努めて欲しい。
5年間を 総括した 成果と課 題	・原案のとおり評価する。

17IV. 文化振興

【基本目標】鴨川ならではの伝統文化・芸術の活用

市民一人ひとりがふるさとの文化や歴史、芸術を理解し、郷土愛と誇りを持って、心豊かな生活を送ることができるよう、鴨川市の貴重な文化財の保護・保全に努め、市民の文化芸術活動を支援するとともに、多様な文化・芸術に接する機会や活動成果の発表の場の拡充を図ります。文化芸術活動の拠点となる新たな市民ギャラリーの整備、また多目的施設の活用を図るとともに、潜在的な文化資源の掘り起こしに努め、文化・芸術活動への市民の参加を促進します。

IV-1. 文化・芸術の振興

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 文化・芸術の振興 ①文化団体の活動促進 ②鑑賞機会の充実
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・鴨川市文化協会の活動支援 ・アート鑑賞ツアーの開催 ・市所蔵作品、所蔵資料の展示公開 【実施状況】 ・文化協会の活動支援として補助金 70,000 円を交付し、また各部門からの相談への対応 ・「ルノワール展鑑賞ツアー 事前学習会」(6 月 18 日)、「ルノワール展鑑賞ツアー」(6 月 23 日)、「ゴッホとゴーギャン展鑑賞ツアー」(11 月 29 日)の開催 ・「堅山南風素描展」(9 月)、「江戸の狂歌摺物 北斎と俊満」(11～12 月)、「横山大観 霊峰―特別公開―」(1 月)の開催 【成果と課題】 ◎鴨川市文化協会には 11 部門 250 名の会員が加入し、年間延べ 2,293 名が活動。日頃からの活動の成果を鴨川市文化祭で発表。1,324 名が来場し、多くの市民が様々な分野の文化活動に触れることができた。 ◎本格的な美術展を鑑賞する機会を市民に提供し、2 回のツアーに合計 81 名、事前学習会に 16 名が参加。初めて美術展を鑑賞する市民を含め、幅広い層の方々に芸術鑑賞の機会を提供し、好評を得られた。 ◎本市所蔵品の展示公開を通して、貴重な資料類の鑑賞機会を提供し、鴨川市における文化芸術を広く知らしめることができた。三つの企画展で合計 3,785 名の入館者(市内 1,819 名、市外 1,966 名)を記録。また企画展入館者に実施したアンケート結果として、 ◆高齢化に伴う協会員数の減少 ◆ツアー参加希望者の大幅増に対する対応の検討 ◆新しい分野を含めた開催テーマの設定と展示内容の検討
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・文化協会の活動支援 ・アート鑑賞ツアーの開催 ・市所蔵作品、所蔵資料の展示公開 【実施状況】 ・文化協会の活動支援として補助金 70,000 円を交付し、また各部門からの相談への対応。 ・「北斎とジャポニズム展事前学習会」(11 月 7 日)、「北斎とジャポニズム展鑑賞ツアー」(11 月 15 日)の開催 ・市所蔵作品展「吉田芳夫彫刻展」(9 月)、「明治大正期の日本画展」(10～11 月)の開催

	【成果と課題】 ◎鴨川市文化協会 10 部門 217 名の会員を中心に、市民の日頃からの活動の成果を鴨川市文化祭で発表。1,042 点の出品と 1,133 名の来場者を記録し、多くの市民が様々な分野の文化活動に触れることができた。 ◎本格的な美術展を鑑賞する機会を市民に提供するツアーに 42 名、事前学習会に 19 名が参加。幅広い層の方々に芸術鑑賞の機会を提供し、好評を得られた。 ◎本市所蔵品の展示公開を通して、貴重な資料・作品類の鑑賞機会を提供した。二つの企画展で合計 1,185 名の入館者（市内 749 名、市外 436 名）を記録。また二つの企画展入館者に実施したアンケート結果として、展示内容が「よい」との回答が平均 88% を記録。 ◆文化協会会員の高齢化に伴う協会員数の減少 ◆アート鑑賞ツアー参加者層の拡大 ◆收藏資料・作品類の調査研究と有効活用の推進
平成 30 年度	《 重点取組 》 ・文化協会の活動の活性化への支援と協力 ・文化芸術の鑑賞機会の充実 ・市所蔵資料、作品類の有効活用を目的とした展示公開 【実施状況】 ・文化協会の活動支援として補助金 70,000 円を交付し、また各部門からの相談への対応。 ・「プーシキン美術館展鑑賞ツアー」（6 月 5 日）、「日本美術展覧会鑑賞ツアー」（11 月 19 日）、「千葉市美術館・DIC 川村記念美術館鑑賞ツアー」（3 月 26 日）の開催 ・企画展「山谷鉄一〜海をみつめて〜」（9 月）の開催 【成果と課題】 ◎鴨川市文化協会 10 部門 210 名の会員を中心に、市民の日頃からの活動の成果を鴨川市文化祭で発表。1,022 点の出品と 1,011 名の来場者を記録し、多くの市民が様々な分野の文化活動に触れることができた。 ◎本格的な美術展を鑑賞する機会を市民に提供するツアーに 3 回計 102 名が参加。初めて参加する市民を含め、幅広い層の方々に芸術鑑賞の機会を提供し、好評を得られた。 ◎本市所蔵品の展示公開を通して、貴重な資料・作品類の鑑賞機会を提供した。企画展では 456 名の入館者（市内 372 名、市外 84 名）を記録。また企画展入館者に実施したアンケート結果として、展示内容が「よい」との回答が 80.4% を記録 ◆文化協会会員の高齢化に伴う協会員数の減少 ◆アート鑑賞ツアー参加者層の拡大 ◆收藏資料・作品類の調査研究と有効活用の推進
令和元年度	《 重点取組 》 ・文化協会の活動の活性化への支援と協力 ・文化芸術の鑑賞機会の充実 ・市所蔵資料、作品類の有効活用を目的とした展示公開 【実施状況】 ・文化協会の活動支援として補助金 70,000 円を交付し、また各部門からの相談への対応。 ・「松方コレクション展鑑賞ツアー」（6 月 20 日）、「ルノワールとパリに恋した 12 人の画家たち展鑑賞ツアー」（11 月 27 日）の開催 ・美術收藏展「鴨川コレクション」（9 月）の開催 【成果と課題】 ◎鴨川市文化協会 10 部門 199 名の会員を中心に、市民の日頃からの活動の成果を鴨川市文化祭で発表。964 点の出品と 980 名の来場者を記録し、多くの市民が様々な分野の文化活動に触れることができた。 ◎本格的な美術展を鑑賞する機会を市民に提供するツアーに 2 回計 71 名が参加。初めて参加する市民を含め、幅広い層の方々に芸術鑑賞の機会を提供し、好評を得られた。 ◎本市所蔵品の展示公開を通して、貴重な資料・作品類の鑑賞機会を提供した。企画展で

	は188名の入館者（市内138名、市外50名）を記録。また企画展入館者に実施したアンケート結果として、展示内容が「よい」との回答が67%を記録 ◆文化協会会員の高齢化に伴う協会員数の減少 ◆アート鑑賞ツアー参加者層の拡大 ◆収蔵資料・作品類の調査研究と有効活用の推進
令和2年度	《重点取組》 ・文化協会の活動の活性化への支援と協力 ・文化芸術の鑑賞機会の充実 ・市所蔵資料、作品類の有効活用を目的とした展示公開 【実施状況】 ・文化協会の活動支援として補助金70,000円を交付し、また新型コロナウイルス感染防止対策など各部門からの相談への対応。 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から、文化祭、市民音楽祭、アート鑑賞ツアーを中止。 ・郷土資料館1階に絵画及び彫刻等の展示コーナーを開設し、所蔵作品の展示公開を実施。 【成果と課題】 ◎郷土資料館1階の展示コーナーでは、定期的に展示替を行ない、市所蔵美術作品の鑑賞機会の増加を図った。 ◆高齢化に伴い会員数が減少しつつある文化協会の会員増加のための支援。 ◆アート鑑賞ツアー参加者層の拡大と鑑賞分野の拡充。 ◆収蔵資料・作品類の調査研究と有効活用の方策の検討。
	【5年間を総括した成果と課題】 ◎アート鑑賞ツアーの実施や展覧会の開催などにより、日本画・西洋画など様々な分野の美術鑑賞の機会を設けることができ、参加者・見学者には概ね好評で、一定の成果を上げることができた。 ◎市民会館の廃止と市民ギャラリーの休館による文化行事の会場を確保する過程で、市内の施設や各種団体との新たな連携・交流が生まれた。 ◆新型コロナウイルス感染防止対策を含めた今後の文化芸術活動の会場・場所の確保。 ◆アート鑑賞ツアーの参加者層が固定化しつつあるので、対象とする芸術分野を拡充し、様々な人が文化芸術鑑賞の機会を得られるよう内容を見直す。 ◆高齢化に伴い会員数が減少しつつある文化協会の活性化を図るため、活動の周知、展示方法や発表方法、新型コロナウイルス感染防止対策など、様々な相談に対応して助言を行う。

■ 外部評価 ■

平成28年度	・原案のとおり評価する。
平成29年度	・原案のとおり評価する。
平成30年度	・様々なイベント等で、文化協会の活動について周知するよう努めて欲しい。
令和元年度	・原案のとおり評価する。
令和2年度	・原案のとおり評価する。
5年間を総括した成果と課題	・原案のとおり評価する。

IV-2. 文化施設の充実

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 文化活動の拠点施設の整備・活用 ①市民ギャラリーの整備 ②多目的施設の完成後の活用
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・市民ギャラリー及び曾呂公民館の旧曾呂小学校校舎への移転 【実施状況】 ・老朽化した市民ギャラリー及び曾呂公民館の機能を旧曾呂小学校校舎へ移転するために、文化施設運営協議会を4回開催し、計画の策定に取り組んだ。 【成果と課題】 ◎専門的な見地から各委員の意見を徴し、アートを中心に据えた地域の交流の拠点となる施設整備に関する基本計画の骨子をまとめた。 ◆平成 28 年度の検討の結果に基づく、基本計画の策定
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・市民ギャラリー及び曾呂公民館の旧曾呂小学校校舎への移転 【実施状況】 ・市民ギャラリー及び曾呂公民館の旧曾呂小学校への移転整備計画案の再検討 【成果と課題】 ◆遊休施設の有効活用及び事業仕分けの結果を勘案したうえで、今後の市民ギャラリーの遊休施設への移転や、郷土資料館・文化財センターなどの既存施設との統合などを視野に入れた整備計画の検討
平成 30 年度	《 重点取組 》 ・有識者の意見を参考にした計画の検討 【実施状況】 ・文化施設運営協議会と社会教育委員会議で有識者の意見を聴取した。 【成果と課題】 ◆今後の市民ギャラリーの遊休施設への移転等とともに、所蔵している作品の一元的な展示が可能な施設の検討
令和元年度	《 重点取組 》 ・市民ギャラリーの移転先の具体的な検討 【実施状況】 ・文化施設運営協議会と社会教育委員会議で有識者の意見を聴取した。 【成果と課題】 ◎市民会館休館に伴い、施設老朽化がかなり進んでいるとの判断により、年度末をもって市民ギャラリー休館とした。 ◆休館後の市民ギャラリー所蔵作品の利活用及び遊休施設の利活用を含めた移転先の検討
令和 2 年度	《 重点取組 》 ・休館後の市民ギャラリー所蔵作品の利活用及び遊休施設の利活用を含めた移転先の検討 【実施状況】 ・市民ギャラリーに展示していた長谷川昂作品を始めとする彫刻・絵画等を、郷土資料館 1 階に開設した展示コーナーで常設展示。 ・長狭学園校舎内に、長谷川昂作「大地」を移設・展示。 ・郷土資料館 2 階研修室を、市民の発表の場として利用できるように調整。 【成果と課題】 ◎市民ギャラリー所蔵作品を一部移動し、郷土資料館などに常設及び定期的な展示入替を

	実施し、ギャラリー休館に伴う鑑賞機会の減少を最低限に留めた。 ◎市内団体が郷土資料館 2 階研修室を、作品発表の展示室として利用。 ◆休館後の市民ギャラリー所蔵作品の利活用及び遊休施設の利活用を含めた移転先の検討。
【 5 年間を総括した成果と課題 】	
◎市民ギャラリー機能を遊休施設へ移転することを計画していたが、施設の老朽化が顕著となったため休館。保管庫として維持するとともに、作品の利活用の一環として、郷土資料館に展示コーナーを設置した。また、同館内に市民が利用できる展示室を確保した。 ◆休館後の市民ギャラリー所蔵作品の利活用及び遊休施設の利活用を含めた移転先は、文化施設運営協議会等の委員の意見を踏まえ、公共施設全体の管理計画と合わせて、検討を進める。	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・ 原案のとおり評価する。
平成 29 年度	・ 原案のとおり評価する。
平成 30 年度	・ 原案のとおり評価する。
令和元年度	・ 原案のとおり評価する。
	・ 市民ギャラリーの代替となる施設の移転先の検討を進めて欲しい。
令和 2 年度	・ 原案のとおり評価する。
	・ 市民ギャラリーの代替となる施設の移転先の検討を進めて欲しい。
5 年 間 を 総 括 し た 成 果 と 課 題	・ 原案のとおり評価する。

Ⅳ－３．歴史・文化の保全と活用 （文化振興室）

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 指定文化財保護活動の支援と適正保護の推進 ①文化財等の実態調査 ②文化財保護活動への支援 (2) 市史の編さん、史・資料調査と保存・活用 ①市史編さんの継承 ②史・資料の保存と活用 (3) 地域の歴史・文化資源の周知と有効活用 ①地域の歴史・文化の理解促進
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・ 文化財等の保護管理に向けた調査 ・ 市史編さん事業の継続と活用の推進 ・ 展覧会や各種講座の開催による歴史・文化の理解促進 【実施状況】 ・ 「誕生寺祖師堂」を市の文化財に指定することを目的として、建築の専門家である市及び県文化財審議委員による現地調査を 2 回実施 ・ 市史編さん委員会の開催（6、12、2 月）とあゆみシリーズ他発刊物の頒布 ・ 「新収蔵コレクション～初めてののおひろめ」（7～9 月）、「3 D データで観る伊八と義光」（2～3 月）の開催、年間を通した市内外での講座等による、本市の歴史と文化の周知

	【成果と課題】 ◎「誕生寺祖師堂」の文化財的な価値に関する、専門的な見地からの所見を得ることができた。その結果、指定への手続きを進めるための見通しを立てることができた。 ◎鴨川市史やあゆみシリーズなど 85 冊を頒布することで、市内外に鴨川市の歴史や文化を広く知らしめることができた。 ◎特別展、企画展の入館者 1,083 名、講座受講者 1,375 名を対象に、本市の歴史と文化に関する理解を促した。 ◆市の文化財に指定する他の候補に関する調査推進 ◆あゆみシリーズ発刊完了後の市史編さん事業継続の方向性 ◆展覧会及び講座の魅力ある内容の更なる充実
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・文化財等の保護管理に向けた調査 ・市史編さん事業の継続と活用の推進 ・展覧会や各種講座の開催による歴史・文化の理解促進 【実施状況】 ・「誕生寺祖師堂」の文化財指定に関する、文化財保護審議会への諮問 ・市史編さん委員会の開催（6、12、3 月）と、『江見のあゆみ』発刊・あゆみシリーズ他、市史発刊物の周知と頒布 ・「輪廻のラグランジェ原画展」（7～9 月）、「彫物大工・廻塚の伊八展」（12～3 月）の開催、年間を通じた市内外での講座・解説会等による、本市の歴史と文化の周知 【成果と課題】 ◎「誕生寺祖師堂」の指定に関する文化財保護審議会の答申を受け、市指定有形文化財に指定することができた。 ◎『江見のあゆみ』の発刊、鴨川市史やあゆみシリーズなど 208 冊（2 月 16 日現在）を頒布することで、市内外に鴨川市の歴史や文化を広く知らしめることができた。 ◎二つの企画展の入館者が 3,825 名（2 月末現在）を記録したことにより、郷土資料館の入館料が 831,590 円（2 月末現在）となり、過去 5 年間で最高値を記録した。 ◎市内外での講座受講者及び解説会参加者 2,167 名（2 月末現在）を対象に、本市の歴史と文化に関する理解を促した。 ◆市指定文化財の候補「一戦場公園野馬土手遺構」や「嶺岡山野絵図」の指定に向けた取り組み ◆古文書・史料類の適正保存と有効活用の推進 ◆展覧会及び講座の魅力ある内容の更なる充実
平成 30 年度	《 重点取組 》 ・文化財指定後の周知を目的とした説明板等の整備の促進 ・「嶺岡牧」シンポジウムの開催 ・展覧会や各種講座の開催による歴史・文化の理解促進 【実施状況】 ・指定文化財の説明板を 2 か所設置するとともに、周知を目的とした展覧会を開催した。 ・文化財指定候補に関する、文化財保護審議会への意見聴取 ・嶺岡牧シンポジウムの開催（3 月 17 日） ・市史編さん委員会の開催（6、12、3 月）と、あゆみシリーズ他、市史発刊物の周知と頒布 ・『江見のあゆみ』解説講座の開催（2、3 月） ・「昭和ノスタルジー～思い出の写真展」（7～9 月）、「鴨川のたからもの～指定文化財集合～展」（2～4 月）の開催、年間を通じた市内外での講座・解説会等による、本市の歴史と文化の周知 【成果と課題】 ◎「鴨川のたからもの～指定文化財集合～展」の開催によって、市内の指定文化財を広く

	周知することができ、文化財保護の意識を向上と地域の歴史・文化の大切さを訴える一助となった。 ◎嶺岡牧シンポジウムを開催し、市内外から45名が参加し、本市の歴史や文化に与えた影響を学び、関心を高めるとともに、その価値について広く周知することができた。 ◎『江見のあゆみ』の発刊、鴨川市史やあゆみシリーズなど72冊を頒布し、2回の解説講座(51名参加)を開催することで、市内外に鴨川市の歴史や文化を広く知らしめることができた。 ◎二つの企画展の入館者が1,605名、市内外での講座受講者及び解説会参加者1,478名を対象に、本市の歴史と文化に関する理解を促した。 ◆市指定文化財の候補の選定と指定に向けた取り組み ◆あゆみシリーズ発刊完了後の市史編さん事業の方向性 ◆古文書・史料類の適正保存と有効活用の推進
令和元年度	《重点取組》 ・文化財保護活用計画の策定のための事前調査 ・市指定文化財候補の指定に向けた手続き ・あゆみシリーズ発刊完了後の市史編さん事業の方向性の検討 ・展覧会や各種講座の開催による歴史・文化の理解促進 【実施状況】 ・古文書を中心とした未指定文化財の調査並びに研究 ・「房州峯岡山野絵図・房州朝夷郡柱木野絵図(石井孫左衛門控)」の文化財保護審議会への諮問並びに文化財指定 ・今後の方向性について市史編さん委員からの意見聴取 ・市史編さん委員会の開催(6、12、3月)と、『西条のあゆみ』発刊・あゆみシリーズ他、市史発刊物の周知と頒布 ・「江戸明治の寺社めぐり～鴨川と聖地巡礼～」(7～9月)、「皇室ゆかりのモノと場所～鴨川との軌跡～」(2～4月)の開催、年間を通した市内外での講座・解説会等による、本市の歴史と文化の周知 【成果と課題】 ◎「房州峯岡山野絵図・房州朝夷郡柱木野絵図(石井孫左衛門控)」の指定に関する文化財保護審議会の答申を受け、市指定有形文化財に指定することができた。 ◎『西条のあゆみ』の発刊、鴨川市史やあゆみシリーズなど150冊を頒布することで、市内外に鴨川市の歴史や文化を広く知らしめることができた。 ◎二つの企画展の入館者が751名、市内外での講座受講者及び解説会参加者567名を対象に、本市の歴史と文化に関する理解を促した。 ◆市指定文化財の候補の選定と指定に向けた取り組み ◆あゆみシリーズ発刊完了後の市史編さん事業の方向性 ◆展覧会及び講座の魅力ある内容の更なる充実と情報発信
令和2年度	《重点取組》 ・文化財保護活用計画の策定のための事前調査並びに計画案のとりまとめ ・あゆみシリーズ発刊完了後の市史編さん事業の方針策定 ・展覧会や各種講座の開催による歴史・文化の理解促進 【実施状況】 ・古文書を中心とした未指定文化財の調査並びに研究。 ・市史編さん基本方針案の作成。 ・企画展として「東条藩ときどき花房藩～鴨川にきた二つの藩～」(8～10月)、「富士山文化展～鴨川と富士をめぐる～」(2～4月)の開催、ミニ展示として新指定文化財「房州峯岡山野絵図・房州朝夷郡柱木野絵図(石井孫左衛門控)」を公開(11～12月)し、本市の歴史、文化の紹介と理解の促進に努めた。 ・全国220の博物館が協力・連携して実施している「おうちミュージアム」に参加すると

	ともに、鴨川市郷土資料館公式 Twitter (@bunka_kamogawa) を開設し、郷土資料館からの情報発信と本市の歴史・文化の普及啓発に努めた。 【成果と課題】 ◎古文書や民俗資料などの調査を実施し、鴨川市内の貴重な資料 513 点を発見・整理した。 ◎文化財保護活用計画の素案及び市史編さん基本方針案を作成し、今後の方向性と課題について整理した。 ◎企画展 2 件、ミニ展示 1 件の入館者、計 2,066 名を対象に、本市の歴史と文化に関する理解を促した。企画展「富士山文化展～鴨川と富士をめぐる～」は、地域住民や子どもたちが展覧会で紹介した現場を訪問するなど交流が進み、活性化の一助となった。 ◎鴨川市郷土資料館公式 Twitter のフォロワー 110 名を得るなど、郷土資料館からの情報発信に一定の効果があつた。また、鴨川市史やあゆみシリーズなど 100 冊を頒布することで、市内外に本市の歴史や文化を広く知らしめることができた。 ◆指定・未指定文化財の保存活用並びに新たな指定に向けた調査研究。 ◆今後の市史編さん事業における発刊物の内容の検討。 ◆展覧会及び講座を更に魅力あるものとするための内容の充実と情報発信。
--	--

	【 5 年間を総括した成果と課題 】 ◎埋もれていた歴史の掘り起こしを行い、調査研究を進めることで、新たに文化財 2 件を指定し、4,000 点以上の新規資料を発掘調査し、大半は郷土資料館で収蔵して資料保存につなげた。 ◎展覧会及び展示内容が多岐にわたったことで新たな入館者層の確保に一定の成果があり、新たな資料の発掘を生み、より良い循環が生まれている。 ◆平成 29 年度以降、台風被害やコロナ禍により入館者数が減少してきており、魅力ある展示内容の実施とともに、来館者の興味・関心をひく情報発信が課題となる。 ◆展覧会や解説会などでは、新型コロナウイルス感染防止対策に基づいた対応が求められる。 ◆指定文化財をはじめとして多くの文化財が災害や経年劣化による損失の危険性にさらされており、継続的な保存管理に要する費用を確保のための利活用が大きな課題となる。
--	--

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・原案のとおり評価する。 ・地域の歴史や文化に関する出前講座が好評であったことから、今後も土曜スクール等で行って欲しい。
平成 29 年度	・原案のとおり評価する。 ・郷土資料館の市外の来館者が増えたのは喜ばしいことだが、市内の来館者が増えるよう周知を行って欲しい。
平成 30 年度	・原案のとおり評価する。
令和元年度	・原案のとおり評価する。
令和 2 年度	・原案のとおり評価する。
5 年間を総括した成果と課題	・原案のとおり評価する。

V-2. 親が育つ環境づくり

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 家庭教育の支援 ①PTA活動などの促進 (2) 保護者活動の支援 ①保護者研修機会の充実 ②家庭教育相談や家庭教育指導員の活用
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・保護者の育ちを応援する研修機会の充実 【実施状況】 ・子育て学習や親子のふれあいを学ぶ場として「家庭教育学級」を市内全幼稚園で実施。 ・家庭教育学級の取組を他の年齢層にも広げ、地域を挙げて家庭教育を推進していくために、民間・地域と連携し「家庭教育講演会」を実施 (共催：オーシャンズ若潮明社) 【成果と課題】 ◎「家庭教育学級」は、市内全幼稚園8園で延べ16回開催。アンケートには「親子のふれあいや子育ての気づき、また保護者の交流の場になった」との結果。 ◎「家庭教育講演会」は、子育て孫育て世代から教育関係者の131名参加 アンケートには「子育ての貴重なヒントが得られた」等の好評価を得た。 ◆家庭教育講演会には、現役子育て世代は忙しく参加割合が少ない状況であるため、子どもイベントに同伴の保護者を狙った開催企画とする。
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・保護者の育ちを応援する研修機会の充実 【実施状況】 ・子育て学習や保護者の交流、親子のふれあいなどを学ぶ場として市内全幼稚園で「家庭教育学級」を実施 ・広く市民を対象に家庭教育学級の取組を広げるため、オーシャンズ若潮明社と連携して「家庭教育講演会」を実施。また、あわアースひろばの子どもイベントと併設開催し、同伴の保護者の参加を試みた。 【成果と課題】 ◎「家庭教育学級」は、市内全幼稚園8園で延べ15回開催。アンケートには「保護者の交流や親子のスキンシップが図られた。」との感想。延べ460名の親子の参加を得た。 ◎「家庭教育講演会」は、現役子育て世代の保護者から教育関係者の88名が参加 アンケートには「家庭教育は想像と工夫」「子育ての振り返りの場になった」等の好評価を得た。 ◆子どもイベントとの併設開催を試みたが、約400名の親子も小学校低学年が中心で、親が子どもから離れられず、講演会参加者の2割程度の参加率と振るわなかった。聞き取りでは、講演会の長い時間、目を離すのに抵抗があったようだった。
平成 30 年度	《 重点取組 》 ・「家庭教育講演会」への参加者の拡大 【実施状況】 ・子育て学習や保護者の語り合い・交流、親子のふれあいなどを学ぶ場として市内全幼稚園で「家庭教育学級」を実施 ・広く市民を対象に家庭教育学級の取組を広げるため、オーシャンズ若潮明社と連携して「家庭教育講演会」を実施。また、福祉協議会のイベントと併設開催し、広く市民の参加を試みた。 【成果と課題】 ◎「家庭教育学級」は、市内全幼稚園8園で延べ16回開催し、延べ939名の親子の

	参加。食育のアンケートでは「子どもの食生活を見直す良い機会になった。」との感想であった。 ◎「家庭教育講演会」は、現役子育て世代の保護者から教育関係者の136名が参加。アンケートでは「子どもの関わり方について知ることが出来た」等の好評価を得た。 ◆講演会を午前と午後の2部構成で開催したが、参加者から「時間が足りなく感じた」「もっと長く話を聞きたい」との要望があり講演をより充実したものとするため、開催時間を見直す。
令和元年度	《重点取組》 ・保護者の育ちを応援し、学びの機会となる「家庭教育講演会」の充実を図る。 【実施状況】 ・子育て学習や保護者の語り合い・交流、親子のふれあいなどを学ぶ場として市内全幼稚園で「家庭教育学級」を実施 ・広く市民を対象に家庭教育学級の取組を広げるため、オーシャンズ若潮明社と連携して「家庭教育講演会」を計画し、開催向け準備を進めた。 【成果と課題】 ◎「家庭教育学級」は、市内幼稚園・認定子ども園計6園で延べ12回開催し、延べ950名の親子の参加があった。特に、「子育て学習」、「保護者の語り合い、交流」、「親子のふれあい」の内容を重視し、公民館長、幼稚園・認定子ども園保護者（家庭教育学級担当）、幼稚園・認定子ども園職員と連携を図った。 ◆「家庭教育講演会」は、市内の子育て世代の保護者や教育関係者などを対象とし、明るい社会づくりの運動を展開する「オーシャンズ若潮明社」とともに、10月19日（日）に開催することで準備を進めたが、台風15号、19号による被災等の影響もあり中止となったが、次回以降の開催時は、延期対応の可能な有無についても検討する。
令和2年度	《重点取組》 ・家庭教育学級を通じて、保護者の成長や学びの場を提供し、充実を図る。 【実施状況】 ・子育て学習や保護者の語り合い・交流、親子のふれあいなどを学ぶ場として市内5カ所の認定こども園で「家庭教育学級」を実施した。 ・広く市民を対象に家庭教育学級の取組を広げるため、オーシャンズ若潮明社と連携して「家庭教育講演会」を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。 【成果と課題】 ◎「家庭教育学級」は、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染防止対策を徹底し、市内の認定子ども園、計5園で5回開催した。 ◆「家庭教育講演会」は、市内の子育て世代の保護者や教育関係者などを対象とし、明るい社会づくりの運動を展開する「オーシャンズ若潮明社」とともに、10月中旬に開催することで準備を進めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。次回以降の開催は、前年度にとらわれない方法で内容を再考することが課題となる。
【5年間を総括した成果と課題】 ◎「家庭教育学級」は、公民館長、・認定子ども園保護者（家庭教育学級担当）、旧幼稚園・認定子ども園職員と連携して開催し、多くの親子の参加があった。また、「家庭教育講演会」でも、現役子育て世代の保護者から教育関係者の多くが参加し、どちらも実施後のアンケートでは「大変ためになった」等、意見が多かった。 ◆保護者の育ちを応援し、学びの機会となる「家庭教育講演会」の充実を図る。 「家庭はすべての教育の出発点、保護者は子どもにとって最初の教育者」であることから、家庭教育の充実を図る。	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・ 原案のとおり評価する。 ・ 保護者同士がコミュニケーションをとる場所を沢山つくって欲しい。保護者同士が親しければそれによって、子供同士のいじめも減少すると考える。
平成 29 年度	・ 原案のとおり評価する。
平成 30 年度	・ 原案のとおり評価する。 ・ 特に家庭教育講演会や家庭教育学級は、常に参加者の増加を念頭に工夫している点は評価される。
令和元年度	・ 原案のとおり評価する。
令和 2 年度	・ 原案のとおり評価する。
5 年間お総括した成果と課題	・ 原案のとおり評価する。

Ⅱ. 生涯学習

【基本目標】市民一人ひとりの学びを支える生涯学習の 振興

誰もがいつでも、どこでも学びたいときに学ぶことができ、その学びの成果を適切に活かせる社会が生涯学習の目指す姿です。このため、市民が家庭や地域で子どもから大人までを対象とした多様な体験学習をはじめ、生活を豊かにする学習活動・読書活動、趣味やスポーツなどに意欲的に取り組める生涯学習環境づくりを進め、自己実現を支援するとともに、地域コミュニティを育てていきます。図書館においては、多様化した市民ニーズに対応した事業展開を図るとともに、その担い手となる人材の育成に努めます。

Ⅱ-1. 多彩な学習活動の促進

成果・・・◎

課題・・・◆

事業概要	(1) 公民館事業の充実 ①市民同士がお互いに尊重しあい、教えあい、学びあう生涯学習活動の充実 (2) 市内に関係施設のある大学との連携 ①大学等との連携による特色ある生涯学習プログラムの充実 (3) 市民が学びやすい環境づくり ①地域学習・ボランティア活動の支援 (4) 青少年海外派遣の推進 ①国際的感覚の豊かな人間育成
令和3年度	〈重点取組〉 ・市民の学習ニーズに合った、幅広い年齢層を対象とした公民館主催教室を実施する。 ・各大学と協議し、過去にこだわらない行事のあり方を検討し、大学の持つ知的及び文化的資産等、特色を活かした講演会や各種学習教室を実施する。 ・生涯学習事業へのボランティアの活用並びに登録者数を増やしていき、学校の授業も含め、市民にこの事業を広く周知する。 ・海外派遣事業は休止 ※東京オリンピック・パラリンピックにより、航空券の手配が困難と予測され、新型コロナウイルスの影響によりマニトワック市と相互の派遣が行えないため。 【実施状況】 【成果と課題】
令和4年度	〈重点取組〉

	【実施状況】 【成果と課題】
令和5年度	〈重点取組〉 【実施状況】 【成果と課題】
令和6年度	〈重点取組〉 【実施状況】 【成果と課題】
令和7年度	〈重点取組〉 【実施状況】 【成果と課題】

Ⅱ-2. 社会教育関連施設の充実

成果・・・◎

課題・・・◆

事業概要	(1) 社会教育関連施設の整備 ①施設の計画的な改修と更新
令和3年度	〈重点取組〉 ・市民の身近な学習の場として安全・安心に利用していただくため、市内公民館の維持・管理に引き続き取り組むとともに、運営のあり方や適正配置について検討する。 【実施状況】 【成果と課題】
令和4年度	〈重点取組〉 【実施状況】 【成果と課題】
令和5年度	〈重点取組〉

	【実施状況】 【成果と課題】
令和6年度	〈重点取組〉 【実施状況】 【成果と課題】
令和7年度	〈重点取組〉 【実施状況】 【成果と課題】

Ⅱ-3. 読書・学習環境の充実

成果・・・◎

課題・・・◆

事業概要	(1) 生涯型読書活動の推進 ① 鴨川市生涯読書推進計画に基づく読書活動の推進 (2) 図書資料の整備・充実 ① 親しみやすい図書館環境づくり ② 施設・設備の改修 ③ 資料の充実 ④ 図書館分室の運営 (3) 子どもの読書活動と習慣づけの推進 ① 子どもの読書活動と習慣づけの推進 ② 学校教育と図書館の連携による読書活動の推進
令和3年度	〈重点取組〉 ・ 第2次生涯読書推進計画（子どもの読書活動推進計画）の作成支援 ・ 図書館ホームページの更新 ・ 本市の特色「観光・医療・子育て等」を活かす配架の工夫 ・ 小中学校配本事業の充実 【実施状況】 【成果と課題】
令和4年度	〈重点取組〉 【実施状況】 【成果と課題】

令和 5 年度	〈重点取組〉
	【実施状況】
	【成果と課題】
令和 6 度	〈重点取組〉
	【実施状況】
	【成果と課題】
令和 7 年度	〈重点取組〉
	【実施状況】
	【成果と課題】

Ⅲ. 青少年の健全育成

【基本目標】子どもたちの自立を支援する体制整備

本市の次代を担う青少年が、自らの能力や個性を十分に発揮して自立するとともに、地域の担い手として活躍できるように、学校、家庭、地域、関係機関等が連携しながら、子どもたちの成長と自立を支援する仕組みづくりを推進します。あわせて青少年が様々な体験・交流活動、社会活動等に参加する機会を拡充するとともに、地域活動の活発化や指導者の育成に努めます。

Ⅲ-1. 啓発活動の推進

成果・・・◎

課題・・・◆

事業概要	(1) 青少年の健全育成に関する啓発の推進 ①体制の整備 ②学校・家庭・地域への啓発
令和3年度	<u>〈重点取組〉</u> ・保護者、地域住民、青少年指導者等で連携した啓発の推進 【実施状況】 【成果と課題】
令和4年度	<u>〈重点取組〉</u> 【実施状況】 【成果と課題】
令和5年度	<u>〈重点取組〉</u> 【実施状況】 【成果と課題】
令和6年度	<u>〈重点取組〉</u> 【実施状況】 【成果と課題】

令和7年度	〈重点取組〉
	【実施状況】
	【成果と課題】

Ⅲ-2. 青少年育成団体活動の活性化及び地域との連携強化

事業概要	(1) 青少年育成団体の活動の活性化 ①青少年育成団体活動の充実 ②体験の場・居場所づくりの推進 (2) 青少年育成団体と地域の連携強化 ①青少年相談員活動の充実 ②非行防止活動の推進
令和3年度	〈重点取組〉 ・土曜スクールに関しては、多様な体験の提供はもとより、地域住民、異なる学年、異なる学校の児童との交流を活動の主眼としてきた経緯があるため、昨今のコロナ禍における適切な活動の在り方の検討を行う。 ・地域学校協働本部による地域と学校の連携・協働体制の構築 ・第21期千葉県青少年相談員の委嘱替えに向けた事務的な支援 ・効果的なパトロールの実施方法の検討 【実施状況】 【成果と課題】
令和4年度	〈重点取組〉
	【実施状況】
	【成果と課題】
令和5年度	〈重点取組〉
	【実施状況】
	【成果と課題】
令和6年度	〈重点取組〉
	【実施状況】
	【成果と課題】

令和7年度	〈重点取組〉
	【実施状況】 【成果と課題】

IV. 文化振興

【基本目標】鴨川ならではの文化・芸術の振興と活用

市民一人ひとりがふるさとの文化に触れ、心豊かな生活を送ることができるよう、音楽や芸能などを含めた市民の多様な文化芸術活動を支援するとともに、様々な分野の文化・芸術に接する機会や活動成果の発表の場の拡充を図ります。さらに、市民の文化芸術活動の拠点となる施設の整備の検討を進めます。

また、市民が本市固有の歴史や文化を理解し、郷土愛と誇りを持てるよう、鴨川市の貴重な文化財の保護・保全と潜在的な文化資源の掘り起こしに努め、文化財保護法の改正を踏まえた文化財の活用を推進します。

IV-1. 文化・芸術の振興

成果・・・◎ 課題・・・◆

事業概要	(1) 文化・芸術の振興 ①文化芸術団体の活動促進 ②鑑賞機会の充実
令和3年度	<u>〈重点取組〉</u> ・文化協会を始めとする文化芸術団体への活動支援と協力 ・文化芸術の鑑賞機会の確保と充実 ・市所蔵資料、作品類の有効活用を目的とした展示公開 【実施状況】 【成果と課題】
令和4年度	<u>〈重点取組〉</u> 【実施状況】 【成果と課題】
令和5年度	<u>〈重点取組〉</u> 【実施状況】 【成果と課題】
令和6年度	<u>〈重点取組〉</u>

	【実施状況】
	【成果と課題】
令和7年度	〈重点取組〉
	【実施状況】
	【成果と課題】

IV-2. 文化施設の充実

成果・・・◎

課題・・・◆

事業概要	(1) 文化活動の拠点施設の整備・活用 ①施設の確保と整備 ②市民ギャラリーの整備
令和3年度	〈重点取組〉 ・ 現有施設における市民の文化芸術活動の発表の場の確保 ・ 新たな文化芸術施設の検討
	【実施状況】
	【成果と課題】
令和4年度	〈重点取組〉
	【実施状況】
	【成果と課題】
令和5年度	〈重点取組〉
	【実施状況】
	【成果と課題】
令和6年度	〈重点取組〉
	【実施状況】
	【成果と課題】
令和7年度	〈重点取組〉
	【実施状況】
	【成果と課題】

IV-3. 歴史・文化の保全と活用

成果・・・◎

課題・・・◆

事業概要	(1) 指定文化財保護活動の支援と適切な保護の推進 ①文化財等の実態調査 ②文化財保護活動への支援 (2) 市史の編さん、史・資料調査と保存・活用 ①市史編さんの継承 ②史・資料の保存と活用 (3) 地域の歴史・文化資源の周知と有効活用 ①地域の歴史・文化の理解促進
令和3年度	〈重点取組〉 ・指定・未指定文化財の保護に向けた調査及び理解促進 ・今後の市史発刊事業の計画の検討と準備 ・展覧会の開催や情報発信による歴史・文化資源の周知と活用 ・鴨川市文化財保存活用地域計画の策定に向けた検討と準備 【実施状況】 【成果と課題】
令和4年度	〈重点取組〉 【実施状況】 【成果と課題】
令和5年度	〈重点取組〉 【実施状況】 【成果と課題】
令和6年度	〈重点取組〉 【実施状況】 【成果と課題】
令和7年度	〈重点取組〉 【実施状況】 【成果と課題】

VI. 家庭と地域の教育力向上

【基本目標】誰もが安心して学べるまちづくりの推進

核家族化や少子高齢化が進む影響などにより、子どもと家庭を支える環境が変化しており、地域のつながりや支えあいの重要性が再認識されているとともに、子どもが育つ基盤である家庭の教育力を高めていくことが重要となっています。このため、教育の出発点である家庭教育について親子が一緒に体験して学習する場づくり、子育て支援ネットワークづくりなどを推進し、親の育てる力・家庭教育力が高められるよう支援します。地域では、地域住民のつながりや支えあいによる地域コミュニティの形成や、学校、家庭、地域、関係機関等との力強い連携により、子どもに関わり、育ちを応援する地域づくりを進めます。あわせて、誰もが安心して学ぶことができ、その取組が人づくり・地域づくりに活かせる環境づくりを進め、市民の学びを支援して地域の教育力の向上を目指します。

VI-2. 親が育つ環境づくり

成果・・・◎

課題・・・◆

事業概要	(1) 家庭教育の支援 ①家庭教育・子育て支援庁内会議の充実 ②子育て学習会への支援 ③PTA活動などの促進 (2) 保護者活動の支援 ①保護者研修機会の充実 ②家庭教育相談や家庭教育指導員の活用
令和3年度	<u>〈重点取組〉</u> ・「家庭はすべての教育の出発点、保護者は子どもにとって最初の教育者」であることから、保護者の学びの機会となる「家庭教育講演会」の充実を図る。 ・保護者の育ちを応援する研修機会の充実 <u>【実施状況】</u> <u>【成果と課題】</u>
令和4年度	<u>〈重点取組〉</u> <u>【実施状況】</u> <u>【成果と課題】</u>
令和5年度	<u>〈重点取組〉</u>

	【実施状況】 【成果と課題】
令和 6 度	〈重点取組〉
	【実施状況】 【成果と課題】
令和 7 年度	〈重点取組〉
	【実施状況】 【成果と課題】